

国立大学法人
東京医科歯科大学
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

概要 | 2012
OVERVIEW



知と癒しの匠を創造する

知と癒しの匠を創造する

Cultivating Professionals with Knowledge and Humanity

患者や家族の方から「ありがとう」のひと言がいただける。

「あなたでよかった」と笑顔を投げかけていただける。

そのために、高度な医療の知識と卓越した技術を身につけます。

ひとの苦しみや悲しみを受けとめ、思いやれることと倫理観を持ちます。

本学に学び、教育・研究・診療に携わるすべての人が、

「知と癒しの匠」への道を歩みつづけられるよう支えます。

これが、東京医科歯科大学の掲げるミッションです。

教育理念

幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養

自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

国際性豊かな医療人の養成

東京医科歯科大学 シンボルマーク

この図は本学のシンボルマークであり、これには次のような意味が含まれております。



1. 東京医科歯科大学の発展の歴史と、その将来へのあるべき姿を、本学の所在地、湯島にちなんで、湯島天神一学問の神一の象徴である梅の花になぞらえて図案化したものです。
2. 花の芯に当たる中央の輪は、旧東京高等歯科医学校の校章であり、これを基盤として現在の本学があることを示しております。
3. 5枚の花弁は、医学部、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所の5部局を表し、それらが、がっちりスクラムを組んで花を咲かせているという本学の姿を表現しています。
4. 5枚の花弁は、将来に向かって無限に躍進するという意図を表すために花弁の外側を肉厚にし、これによって躍動的な感覚を盛り込んでおります。

東京医科歯科大学ロゴマーク

TMDU

本学の欧文表記TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITYの頭文字をとったTMDUを図案化し、これを本学のロゴマークとします。これには次のような意味が含まれております。

1. 「M」と「D」をつなげることで、医学と歯学の融合を表現しています。
2. 太いラインは“自信”や“強さ”を表し、本学の伝統を表現しています。



国立大学法人
東京医科歯科大学

学長からのメッセージ02

沿革・組織

沿革、歴代校長及び学長04

運営組織等06

教育研究組織等08

大学院・学部等

大学院医歯学総合研究科10

大学院保健衛生学研究科12

大学院生命情報科学教育部13

医学部13

歯学部14

教養部15

生体材料工学研究所16

難治疾患研究所17

図書館情報メディア機構18

全国共同利用施設 / 学内共同教育研究施設 /
保健管理センター / スチューデントセンター /19
女性研究者支援室 / 病院運営企画部

研究・産学連携推進機構20

医学部附属病院 / 歯学部附属病院21

特色ある教育・研究

グローバルCOEプログラム24

看護師の人材養成システムの確立25

大学院間での相互連携による
優れた専門医等の養成25

戦略的創造研究推進事業チーム型研究(クレスト)26

国家基幹研究開発推進事業
『再生医療の実現化プロジェクト26
再生医療の実現化ハイウェイ』

科学技術振興機構(JST)戦略的国際科学技術
協力推進事業(日本-スウェーデン研究交流)27

地球規模課題対応 国際科学技術協力事業27

日中韓フォーサイト事業28

イノベーションシステム整備事業
(大学等産学官連携自立化促進プログラム)28

内閣府(日本学術振興会)
[最先端・次世代研究開発支援プログラム]29

特別経費31

脳科学研究戦略推進プログラム 課題E
「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子」33

特色ある教育・研究一覧33

国際交流

ガーナ・野口記念医学研究所共同研究センター34

チリ国における
ラテンアメリカ共同研究拠点の形成35

チュラロンコーン大学
——東京医科歯科大学研究教育協力センター35

パートナーズ・インターナショナル・
メディカル・サービスとの医学教育提携36

インペリアルカレッジとの交換留学プログラム37

国際サマープログラム38

海外研修奨励制度39

大学院学生研究奨励賞、
自由選択学習(プロジェクトセメスター)を
利用した海外留学39

国際交流協定校 / 学部等協定40

外国人留学生在籍者数41

統計

職員数42

学生数(大学院)43

学生数(学部)44

学位授与数45

附属教育施設45

平成24年度科学研究費助成事業採択状況46

受託研究費等受入状況46

平成24年度厚生労働科学研究費補助金採択状況46

寄附講座一覧47

平成24年度収入・支出予算47

キャンパス概要

キャンパス概要48

土地・建物及び所在地、関係施設位置図50

「知と癒しの匠を創造する」

東京医科歯科大学は、歯医学総合研究科と保健衛生学研究科の2つの大学院組織、医学部医学科と医学部保健衛生学科、歯学部歯学科、歯学部口腔保健学科の4つの学部学科組織、医学部附属病院と歯学部附属病院の2つの附属病院、教養教育を担う教養部、および生体材料工学研究所と難治疾患研究所の2つの附置研究所を擁する日本唯一の医療系総合大学院大学です。

本学が目指す人材養成にあたって、そこに求める人間像は未知なるものへのチャレンジ精神を持ち、真理の探究に努力を惜しまぬ科学者像です。しかも、その「科学」は「人が生きる」上で役に立つものでなければなりません。そして、その中で遭遇するあらゆる事象に対する好奇心、それに加えてその多様性を尊重し、許容する幅広い心を持つ医療人像です。

そこで、本学のミッションを「知と癒しの匠を創造する」としました。「知」とは知識と技術とからなり、それは医療の機軸であり、「癒し」とは教養と感性とからなり、それはまた



医療の潤滑油となります。そして、これらが融合するところに「匠」への道が拓かれると、ここにミッションの目標を明示しました。医療とは「知」と「癒し」という縦糸と横糸が織り成すアートであり、本学の目指す医療人養成はこれに依ります。本学では三つの教育理念を掲げています。

しかし、それだけでは他人に通用しない。そこで「怒」すなわち他人の身になって考える知的な同情、単なる優しさ、憐みではなく、幅広い教養に根づいた同情を併せ持つことが大切だと注釈しています。「忠」と「怒」とが一体となったところで、はじめて論語で言わんとする「仁」に近づくことが出来、そうしてはじめて医療人たり得ると言えます。

私たち、医療の現場では、当然最善を尽くします。そこにはある達成感があります。しかし、それだけでは自己満足に止まっているとしかいえません。「最善を尽くしました」では済まされないのが医療の現場です。医療現場での達成感とは、患者さんあるいはご家族の方々が「生きる喜び」を取り戻した姿、感動に接してはじめて得られるものです。

そうした境地に達するには、病める人を目の前にした私たちが、先ず患者さんの痛みを理解し、なお且つ患者さんを取り巻く様々な状況、家族環境や仕事環境、生活価値観等の情報を共有できるようでなければなりません。

それには、教養教育を通じて、幅広い知識や思考法などを獲得し、豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を磨き上げておかなければなりません。

自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成

漢方医が薬を入れておく、小引き出しが数多くある筆筒を百味筆筒あるいは薬味筆筒といいます。学生諸君は学生時代に習得した知識や技術を、その都度自ら小引き出しを作って、自身の百味筆筒に整理、収納してゆかなければなりません。そして臨床や研究に当たって、自らの判断で、時にはいくつもの引き出しを開け、知識と技術の組み合わせを展開してゆくことになります。知識を通して技術を体得し、その技術を通してまた新たな知識を感じます。時には詰め替えることもあるでしょう。あるいはまた、新たに小引出し作る必要があるかもしれません。私たちには、そんな繰り返しが生涯続くことになります。

的確な問題発見ができるのは、十分な知識と技術を身につけてこそ出来ることであり、さらに適切な問題解決へと歩を進めるには、十分な知識と技術のほかに確たる思考法を修得していなければなりません。カントの批判哲学『知識は経験と共に始まるが、思惟がなければ盲目となる』にも通ずる孔子の発想ですが、『学びて思わざれば則ち罔く、思いて学ざれば則ち殆う』とあります。これは、知識や情報を沢山得て、どれだけ習っていても自分で考えてみないことには、自分の人生でどう生かせばよいのか分からない。逆に、先人の知識を無視し、個人の思案だけに頼ると独善的になり過ぎ、これまた生きた智慧には繋がらないと言っています。確たる思考法に基づく思惟があってこそ、はじめて適切な問題解決が可能となるのです。

本学学生は、大学とは教えてくれるところではない、勉強する方法を教えてくれるところであると認識しておかなければなりません。教養科目、専門科目のいずれにおいても決して蔑ろにすることなく、自ら学んで自らに問いかける姿勢が求められます。これが将来一流の医療人、リーダーとして自律してゆく道程となります。「学ぶ」と「思惟」は一对です。

自分自身を磨こう

『学んで時に之を習う、亦説ばしからずや。有朋、遠きより方び来る、亦説ばしからずや。人知らずして慍らず、亦君子ならずや』

書物や師匠について学び、そして反復練習実践していくと自ずとわが身に体得されていきます。自分で出来ることを知る、あるいは疑問を抱き、そこに新たな真実を見出すこともあります。それは何と楽しいことか。学問とはそういうものです。そうやって修養・研鑽を積むと共感者、同志が遠いところからでも慕い尋ねてきてくれます。これは感動するほどにうれしいことです。そこで議論し、真実を確信し、時には全く新たな真実に気付くかもしれません。これは何と楽

国際性豊かな医療人の養成

本学は、臨床面、研究面における国際社会のリーダーとして活躍できる医療人、研究者の養成を目指しています。「よい国際人になるには、まず、立派な自国民になりなさい」ということばを思い出します。「自国知ってこそ真の国際人」たり得るのであり、それは日本的な節度を保ちながら、独自の哲学を踏まえた言動のできる知識人を意味しています。*

日本の文化を踏まえ、異国の文化にも触れることができる様々な海外研修研究奨励制度を本学では準備しています。

まず、医学部、歯学部全ての学生に、学科、専攻によって配分員数に違いはありますが、海外短期派遣制度に沿って、総勢12名の学生がそれぞれの希望によって様々な国に派遣されます。別途、3つの本学の海外研究拠点：新興・再興感染症研究所（カーナ・野口記念医学研究所）、東京医科歯科大学・ラテンアメリカ共同研究拠点（チリ）、チュラロンコーン大学・東京医科歯科大学研究教育協力センター（タイ）に医学科の学生（14名）を研究体験で派遣します。

また、医学部医学科6年生（8名）をハーバード大学での臨床実習体験に、また医学科4年生（4名）をインペリアル大学に研究体験で派遣します。インペリアル大学からは4名の学生を受け入れます。

大学院生についても、別途海外研究奨励制度を立ち上げ、8名の海外研究を支援することとし、平成23年度は3名が利用しました。

本学は、このように海外研修・研究支援制度を以って、学生や若手・中堅研究者に対して留学研修・研究を積極的に推奨しています。

しいことか。そこ至って、はじめて『人知らずして慍らず』という境地に到達します。世の中の人が自分の修得したものを認めてくれなくとも、これを怨まず、咎めず、平然として世に処することができるであろうと締め括っております。

これこそ立派な研究者、医療人ではないでしょうか。他人がどう思おうが、自分の信念に従い、すべきことを遣り通す気概を持たねばなりません。

本学学生には、ぜひ自分自身の「知と癒しが織り成すアート」を築いて欲しいと願い、またそのための支援を本学は惜しみません。

沿革

Brief History

昭和3年
10月12日
Oct. 12, 1928

・東京高等歯科医学校を設置

昭和19年
4月
Apr. 1944・東京医学歯学専門学校となり医学科
を設置昭和21年
8月
Aug. 1946・東京医科歯科大学 (旧制) 設置
・附属図書館設置昭和24年
6月
Jun. 1949・医学部、歯学部附属病院が医学部、
歯学部附属病院とそれぞれ改称昭和26年
4月
Apr. 1951

- ・国立学校設置法により東京医科歯科大学 (新制) 設置
- ・医学部医学科、歯学部歯学科を設置
- ・歯科材料研究所を附置
- ・医学部附属厚生女子部を医学部附属看護学校と改称 (H3.3 廃止)
- ・歯学部附属歯科衛生士学校を設置 (H17.3 廃止)

昭和27年
4月
Apr. 1952

・歯学部附属歯科技工士学校を設置

昭和30年
4月
Apr. 1955

- ・大学院 (医学研究科・歯学研究科) を設置
- ・医学及び歯学進学課程を千葉大学文理学部内に設置 (S33.3 廃止)

昭和33年
4月
Apr. 1958

・医学及び歯学進学課程 (国府台分校) を設置

昭和37年
4月
Apr. 1962

- ・医学部附属衛生検査技師学校を設置 (S48.3 廃止)

昭和40年
4月
Apr. 1965

・教養部を設置

昭和41年
4月
Apr. 1966

・歯科材料研究所を医用器材研究所に改称

昭和45年
4月
Apr. 1970

・保健管理センターを設置

昭和47年
4月
Apr. 1972

- ・医学部附属臨床検査技師学校を設置 (H3.3 廃止)

昭和48年
9月
Sep. 1973

・難治疾患研究所を設置

平成元年
4月
Apr. 1989

- ・医学部保健衛生学科を設置 (看護学専攻・検査技術学専攻)

平成元年
5月
May. 1989

・機器分析室を設置 (H8.5 廃止)

平成4年
4月
Apr. 1992

- ・大学院歯学研究科
生体機能制御歯科学専攻 (博士) を設置

平成5年
4月
Apr. 1993

- ・大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改称
- ・大学院医学系研究科 (保健衛生学専攻) を設置
- ・疾患遺伝子実験センターを設置 (H22.4 改組)

平成7年
1月
Jan. 1995

・情報処理センターを設置 (H22.4 改組)

平成7年
4月
Apr. 1995

- ・大学院医学系研究科
生体感染制御医科学系専攻 (博士) を設置
- ・大学院医学系研究科
保健衛生学専攻 (博士) を設置

平成8年
5月
May. 1996

・機器分析センターを設置 (H15.4 改組)

平成10年
4月
Apr. 1998

- ・アイソトープ総合センターを設置 (H15.4 改組)

平成11年
4月
Apr. 1999

- ・大学院医歯学総合研究科 (3専攻) を設置
- ・医用器材研究所を生体材料工学研究所に改組

平成12年
4月
Apr. 2000

- ・大学院医歯学総合研究科 (7専攻) を設置
- ・大学院医学系研究科 (保健衛生学専攻) を
大学院保健衛生学研究科に改称
- ・留学生センターを設置 (H21.4 改組)

平成13年
4月
Apr. 2001

- ・大学院医歯学総合研究科
医歯科学専攻 (修士課程) を設置
- ・大学院保健衛生学研究科 (2専攻) を設置

平成14年
4月
Apr. 2002

・医歯学教育システム研究センターを設置

平成15年
4月
Apr. 2003

- ・大学院生命情報科学教育部 (2専攻) を設置
- ・大学院疾患生命科学研究部を設置 (H24.3 廃止)
- ・先端研究支援センターを設置 (H22.4 改組)

平成15年
9月
Sep. 2003

・知的財産本部を設置 (H23.4 改組)

平成16年
4月
Apr. 2004

- ・国立大学法人東京医科歯科大学設置
- ・歯学部口腔保健学科を設置

平成21年
4月
Apr. 2009

・国際交流センターを設置

平成21年
12月
Dec. 2009

・スチューデントセンターを設置

平成22年
4月
Apr. 2010

- ・図書館情報メディア機構を設置
- ・医歯学研究支援センターを設置
- ・実験動物センターを設置
- ・医歯学融合教育支援センターを設置
- ・生命倫理研究センターを常設センターに
変更

平成23年
4月
Apr. 2011

- ・歯学部口腔保健学科 (2専攻) を設置 (口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻)
- ・研究・産学連携推進機構を設置

平成23年
8月
Aug. 2011

・東京医科歯科大学基金を設置

平成23年
11月
Dec. 2011

・病院運営企画部を設置

平成24年
4月
Apr. 2012

- ・大学院医歯学総合研究科を改組 (2専攻) (大学院生命情報科学教育部を統合)
- ・女性研究者支援室を設置

歴代校長及び学長

Principals and Presidents

東京高等歯科医学校長
Tokyo National School of Dentistry

島峰 徹 Shimamine Toru	昭和3年10月13日～昭和19年3月31日 Oct. 13, 1928 - Mar. 31, 1944
------------------------	--

東京医学歯学専門学校長
Tokyo Medical and Dental College

島峰 徹 Shimamine Toru	昭和19年4月1日～昭和20年2月9日 Apr. 1, 1944 - Feb. 9, 1945
------------------------	--

東京医学歯学専門学校長事務取扱
Tokyo Medical and Dental College

長尾 優 Nagao Masaru	昭和20年2月10日～昭和20年2月19日 Feb. 10, 1945 - Feb. 19, 1945
----------------------	--

東京医学歯学専門学校長
Tokyo Medical and Dental College

長尾 優 Nagao Masaru	昭和20年2月20日～昭和25年3月31日 Feb. 20, 1945 - Mar. 31, 1950
----------------------	--

東京医科歯科大学長事務取扱
Tokyo Medical and Dental University

長尾 優 Nagao Masaru	昭和21年8月27日～昭和21年10月4日 Aug. 27, 1946 - Oct. 4, 1946
----------------------	---

東京医科歯科大学長 (旧制)
Tokyo Medical and Dental University (The Former System)

長尾 優 Nagao Masaru	昭和21年10月5日～昭和26年3月31日 Oct. 5, 1946 - Mar. 31, 1951
----------------------	---

東京医科歯科大学長 (新制)
Tokyo Medical and Dental University (The New System)

長尾 優 Nagao Masaru	昭和26年4月1日～昭和36年6月30日 Apr. 1, 1951 - Jun. 30, 1961
岡田 正弘 Okada Masahiro	昭和36年7月1日～昭和43年2月29日 Jul. 1, 1961 - Feb. 29, 1968

東京医科歯科大学長事務取扱
Tokyo Medical and Dental University

太田 敬三 Ota Keizo	昭和43年3月1日～昭和43年3月15日 Mar. 1, 1968 - Mar. 15, 1968
--------------------	--

東京医科歯科大学長
Tokyo Medical and Dental University

太田 敬三 Ota Keizo	昭和43年3月16日～昭和44年10月8日 Mar. 16, 1968 - Oct. 8, 1969
--------------------	---

東京医科歯科大学長事務取扱
Tokyo Medical and Dental University

清水 文彦 Shimizu Fumihiko	昭和44年10月9日～昭和45年9月17日 Oct. 9, 1969 - Sep. 17, 1970
---------------------------	---

東京医科歯科大学長
Tokyo Medical and Dental University

清水 文彦 Shimizu Fumihiko	昭和45年9月18日～昭和49年9月17日 Sep. 18, 1970 - Sep. 17, 1974
---------------------------	--

勝木 保次 Katsuki Yasuji	昭和49年9月18日～昭和52年7月31日 Sep. 18, 1974 - Jul. 31, 1977
-------------------------	--

吉田 久 Yoshida Hisashi	昭和52年8月1日～昭和60年7月31日 Aug. 1, 1977 - Jul. 31, 1985
-------------------------	--

加納 六郎 Kano Rokuro	昭和60年8月1日～平成3年7月31日 Aug. 1, 1985 - Jul. 31, 1991
----------------------	---

山本 肇 Yamamoto Hajime	平成3年8月1日～平成7年7月31日 Aug. 1, 1991 - Jul. 31, 1995
-------------------------	--

鈴木 章夫 Suzuki Akio	平成7年8月1日～平成16年3月31日 Aug. 1, 1995 - Mar. 31, 2004
----------------------	---

国立大学法人東京医科歯科大学長
National University Corporation Tokyo Medical and Dental University

鈴木 章夫 Suzuki Akio	平成16年4月1日～平成20年3月31日 Apr. 1, 2004 - Mar. 31, 2008
----------------------	--

大山 喬史 Ohyama Takashi	平成20年4月1日～
-------------------------	------------

組織 Organization

運営組織等 Management Structure



副理事 Associate Managing Trustees

企画・国際交流担当 Planning / International Exchange	烏山 一 Karasuyama Hajime
総務・財務担当 General Affairs / Finance	近藤 弘 Kondo Hiroshi
教育担当 Education	千葉 司 Chiba Tsukasa
研究担当 Research	北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka
研究担当 Research	水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro
医療担当 Medical Treatment	宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki
医療担当 Dental Treatment	嶋田 昌彦 Shimada Masahiko

学長特別補佐 Executive Advisers to the President

企画・国際交流担当 Planning / International Exchange	川口 陽子 Kawaguchi Yoko
教育担当 Education	田中 雄二郎 Tanaka Yujiro
教育担当 Education	小村 健 Omura Ken
研究担当 Research	田賀 哲也 Taga Tetsuya
入試担当 Entrance Exam	東 みゆき Azuma Miyuki
入試・高大連携担当 Entrance Exam and High-School University Collaboration	森尾 友宏 Morio Tomohiro
評価担当 Evaluation	杉原 泉 Sugihara Izumi
評価担当 Evaluation	井関 祥子 Iseki Sachiko
評価担当 Evaluation	赤澤 智宏 Akazawa Chihiro
評価担当 Evaluation	中島 ひかる Nakashima Hikaru
評価担当 Evaluation	三林 浩二 Mitsubayashi Kohji
苦情相談・学生支援担当 Complaint Consultation and Student Support	松浦 雅人 Matsuura Masato
苦情相談・学生支援担当 Complaint Consultation and Student Support	江石 義信 Eishi Yoshinobu

経営協議会 Administrative Council
経営に関する重要事項を審議 Deliberate on management issues

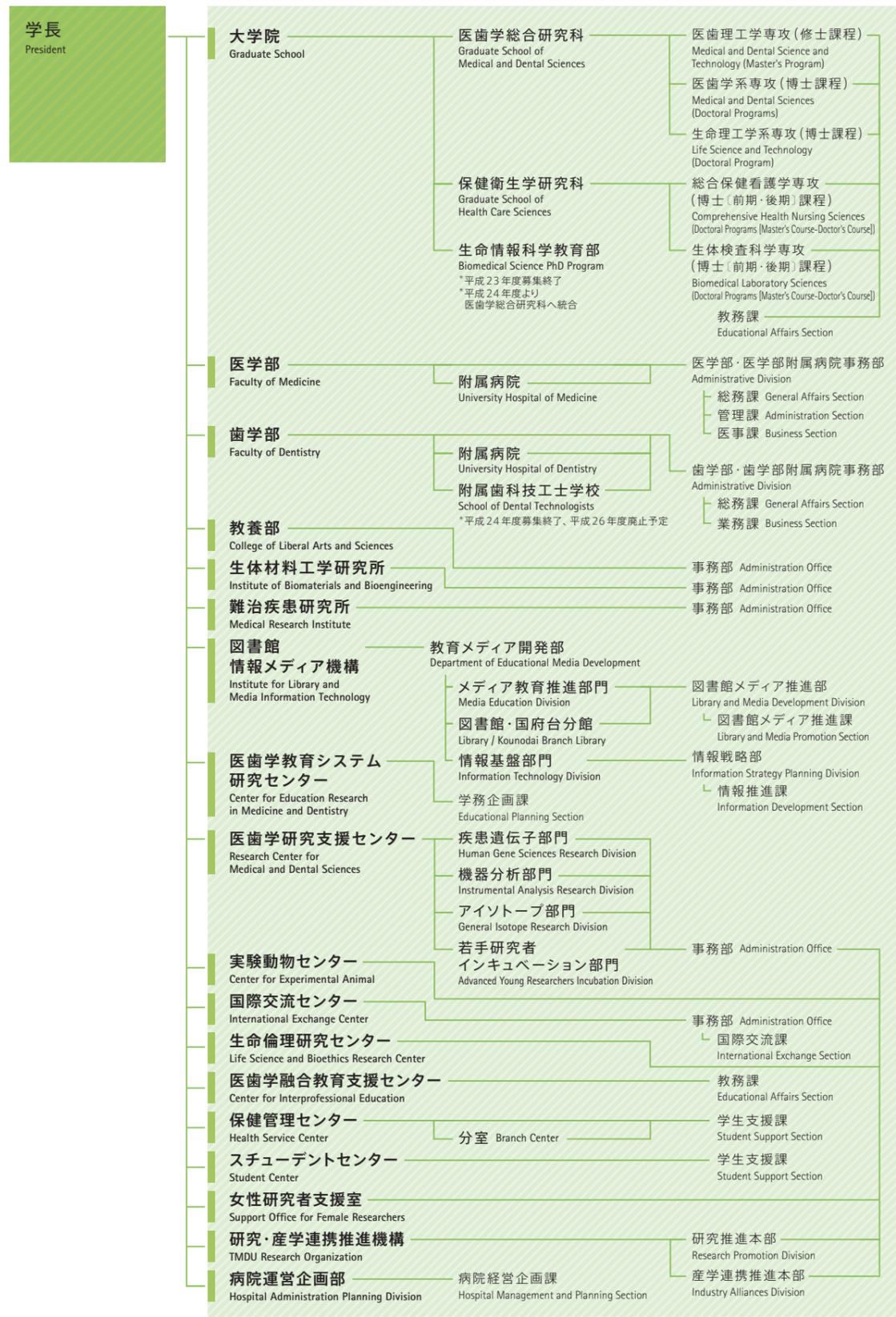
学内委員 Internal Committee	学外委員 External Committee
学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	クオントムリープ株式会社 代表取締役ファウンダー & CEO Founder & CEO, Representative Director, Quantum Leaps Corporation 出井 伸之 Idei Nobuyuki
理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning / International Exchange) 大野 喜久郎 Ohno Kikuo	財団法人放送大学 教育振興会 会長兼理事長 Chairperson, Society for the Promotion of the University of the Air 井上 孝美 Inoue Takayoshi
理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs / Finance / Facilities) 伊藤 勲 Ito Isao	学校法人文京学園 理事、医療法人秀和会 理事、本学名誉教授 小池 盛雄 Koike Morio
理事 (教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	高橋矯正歯科診療所 理事長、本学名誉教授 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 特別顧問 瀬下 明 Seshimo Akira
理事 (研究担当) Trustee (Research) 森田 育男 Morita Ikuo	高橋矯正歯科診療所 理事長、本学名誉教授 読売新聞グループ本社 代表取締役会長・主筆 Editor-in-Chief, The Yomiuri Shimbun Holdings 三浦 不二夫 Miura Fujio
理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	

教育研究評議会 Education and Research Council
教育に関する重要事項を審議 Deliberate on educational and research issues

学長 President 大山 喬史 Ohyama Takashi	生体材料工学研究所長 Director, Institute of Biomaterials and Bioengineering 嶋 隆夫 Hanawa Takao
理事 (企画・国際交流担当) Trustee (Planning / International Exchange) 大野 喜久郎 Ohno Kikuo	難治疾患研究所長 Director, Medical Research Institute 北嶋 繁孝 Kitajima Shigetaka
理事 (総務・財務・施設担当) Trustee (General Affairs / Finance / Facilities) 伊藤 勲 Ito Isao	図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology 木下 淳博 Kinoshita Atsuhiko
理事 (教育担当) Trustee (Education) 須田 英明 Suda Hideaki	医学部附属病院長 Director, University Hospital of Medicine 宮坂 信之 Miyasaka Nobuyuki
理事 (研究担当) Trustee (Research) 森田 育男 Morita Ikuo	歯学部附属病院長 Director, University Hospital of Dentistry 嶋田 昌彦 Shimada Masahiko
理事 (医療担当) Trustee (Medical and Dental Treatments) 吉澤 靖之 Yoshizawa Yasuyuki	大学院医歯学総合研究科 教授 (医学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Medical Division) 水澤 英洋 Mizusawa Hidehiro
副学長 (総括) Vice-President (Overall Management) 佐々木 成 Sasaki Sei	大学院医歯学総合研究科 教授 (歯学系) Professor, Graduate School of Medical and Dental Sciences (Dental Division) 山口 朗 Yamaguchi Akira
大学院医歯学総合研究科長、歯学部長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Faculty of Dentistry 田上 順次 Tagami Junji	大学院保健衛生学研究科 教授 Professor, Graduate School of Health Care Sciences 松浦 雅人 Matsuura Masato
大学院保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences 井上 智子 Inoue Tomoko	教養部教授 Professor, College of Liberal Arts and Sciences 奈良 雅之 Nara Masayuki
大学院 生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science PhD Program 影近 弘之 Kagechika Hiroyuki	生体材料工学研究所教授 Professor, Institute of Biomaterials and Bioengineering 岸田 晶夫 Kishida Akio
医学部長 Dean, Faculty of Medicine 湯浅 保仁 Yuasa Yasuhito	難治疾患研究所教授 Professor, Medical Research Institute 石野 史敏 Ishino Fumitoshi
教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences 千葉 司 Chiba Tsukasa	

教育研究組織等

Education and Research Structure



大学院 Graduate School

- 医歯学総合研究科長 Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences **田上 順次** Tagami Junji
- 医歯学総合研究科 副研究科長 Vice Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences **湯浅 保仁** Yuasa Yasuhiro
- 医歯学総合研究科 副研究科長 Vice Dean, Graduate School of Medical and Dental Sciences **影近 弘之** Kagechika Hiroyuki
- 保健衛生学研究科長 Dean, Graduate School of Health Care Sciences **井上 智子** Inoue Tomoko
- 生命情報科学教育部長 Dean, Biomedical Science PhD program **影近 弘之** Kagechika Hiroyuki

教養部 College of Liberal Arts and Sciences

- 教養部長 Dean, College of Liberal Arts and Sciences **千葉 司** Chiba Tsukasa
- 生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering
 - 研究所長 Director **塙 隆夫** Hanawa Takao

国際交流センター International Exchange Center

- センター長 Director **森尾 郁子** Morio Ikuko

生命倫理研究センター Life Science and Bioethics Research Center

- センター長 Director **吉田 雅幸** Yoshida Masayuki

医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education

- センター長 Director **田中 雄二郎** Tanaka Yujiro

医学部 Faculty of Medicine

- 医学部長 Dean, Faculty of Medicine **湯浅 保仁** Yuasa Yasuhiro
- 医学科長 Director, School of Medicine **水澤 英洋** Mizusawa Hidehiro
- 保健衛生学学科長 Director, School of Health Care Sciences **松浦 雅人** Matsuura Masato
- 附属病院長 Director, University Hospital of Medicine **宮坂 信之** Miyasaka Nobuyuki

図書館情報メディア機構 Institute for Library and Media Information Technology

- 図書館情報メディア機構長 Director General, Institute for Library and Media Information Technology **木下 淳博** Kinoshita Atsuhito
- メディア教育推進部門長 Director, Media Education Division **木下 淳博** Kinoshita Atsuhito
- 図書館長 Director, Library **木下 淳博** Kinoshita Atsuhito
- 図書館国府台分館長 Director, Kounodai Branch Library **畔柳 和代** Kuroyanagi Kazuyo
- 情報基盤部門長 Director, Information Technology Division **高瀬 浩造** Takase Koza

保健管理センター Health Service Center

- センター長 Director **三宅 修司** Miyake Shuji

学生センター Student Center

- センター長 Director **谷口 尚** Taniguchi Hisashi

女性研究者支援室 Support Office for Female Researchers

- 室長 Director **谷口 尚** Taniguchi Hisashi

歯学部 Faculty of Dentistry

- 歯学部長 Dean, Faculty of Dentistry **田上 順次** Tagami Junji
- 歯学科長 Director, School of Dentistry **森山 啓司** Moriyama Keiji
- 口腔保健学学科長 Director, School of Oral Health Care Sciences **品田 佳世子** Shinada Kayoko
- 附属病院長 Director, University Hospital of Dentistry **嶋田 昌彦** Shimada Masahiko
- 歯科技工士学校長 Principal, School of Dental Technologists **五十嵐 順正** Igarashi Yoshimasa

医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry

- センター長 Director **奈良 信雄** Nara Nobuo

研究・産学連携推進機構 TMDU Research Organization

- 研究・産学連携推進機構長 Officer, TMDU Research Organization **森田 育男** Morita Ikuo

医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences

- センター長 Director **中村 正孝** Nakamura Masataka

研究推進本部長 Senior Director, Research Promotion Division

- 研究推進本部長 Senior Director, Research Promotion Division **森田 育男** Morita Ikuo

実験動物センター Center for Experimental Animal

- センター長 Director **金井 正美** Kanai Masami

病院運営企画部 Hospital Administration Planning Division

- 部長 Director **近藤 弘** Kondo Hiroshi

大学院

Graduate Schools

医歯学総合研究科

Graduate School of Medical and Dental Sciences

修士課程 人材育成目標

医学、歯学、生命理工学を中心とする多分野融合を実現した体系的な教育課程を基に、生命科学領域の相互連携を図り、人類の健康と福祉に関する幅広い知識および高い倫理観を有する医学、歯学、生命理工学分野の教育者、研究者、技術者等を育成する。

なお、医療管理政策学コースにおいては医療サービスに関わる社会的ニーズに応えるため、指導的立場で活躍する人材養成課程を基に医療管理ならびに医療政策の分野において、患者中心のより良い医療を効率的に提供できる社会システムの構築に寄与する人材を育成する。

修士課程 | Master's Program

医歯理工学専攻

Medical and Dental Science and Technology

医歯理工学専攻医療管理政策学コース

(医療管理学コース・医療政策学コース)

Medical and Dental Science and Technology,
Master of Medical Administration Course

博士課程 医歯学系専攻 人材育成目標

医学と歯学の両分野の専門的知識を熟知し、他分野との緊密な連携により世界をリードする研究者、教育戦略を打ち立て実行できる心豊かな教育者、高い倫理観を有する研究心旺盛な高度専門医療人、そして新しい時代を開拓するオピニオンリーダーを育成する。

博士課程 生命理工学系専攻 人材育成目標

生命理工学分野に精通し、生命理工学と疾患研究領域との融合的学際分野において幅広い教養と国際的な視野を有し、高度な専門性と実践的問題解決能力を持った人材、とりわけ先端的な研究遂行能力を有する研究者、卓越した学識と優れた人間性を有する教育者、バイオ産業や医療機器開発などにおいて先端的な技術革新を実現するためのマネジメント能力を身につけ、産業界で活躍できる人材を育成する。

博士課程 | Doctoral Programs

医歯学系専攻

Medical and Dental Sciences

口腔機能再構築学講座
Oral Health Sciences口腔病理学分野
Oral Pathology口腔病理学分野
Oral Pathology細菌感染制御学分野
Bacterial Pathogenesis分子免疫学分野
Molecular Immunology先端材料評価学分野
Advanced Biomaterials口腔病態診断科学分野
Diagnostic Oral Pathology有機材料科学分野
Organic Biomaterials機能材料科学分野
Functional Material口腔放射線腫瘍学分野
Oral Radiation Oncology顎口腔外科学分野
Oral and Maxillofacial Surgery口腔放射線医学分野
Oral and Maxillofacial Radiology麻酔・生体管理学分野
Anesthesiology and Clinical Physiology疼痛制御学分野
Orofacial Pain Management小児歯科学分野
Pediatric Dentistry咬合機能矯正学分野
Orthodontic Scienceう蝕制御学分野
Cariology and Operative Dentistry摂食機能保存学分野
Fixed Prosthodontics歯髄生物学分野
Pulp Biology and Endodontics部分床義歯補綴学分野
Removable Partial Denture Prosthodonticsインプラント・口腔再生医学分野
Oral Implantology and Regenerative Dental Medicine全部床義歯補綴学分野
Complete Denture Prosthodontics顎顔面頭部機能再建学講座
Maxillofacial and Neck Reconstruction形成・再建外科分野
Plastic and Reconstructive Surgery頭頸部外科学分野
Head and Neck Surgery腫瘍放射線医学分野
Diagnostic Radiology and Oncology顎顔面解剖学分野
Maxillofacial Anatomy認知神経生物学分野
Cognitive Neurobiology分子発生学分野
Molecular Craniofacial Embryology分子細胞機能学分野
Cellular Physiological Chemistry金属材料科学分野
Metalsバイオデザイン分野
Biodesign顎顔面外科学分野
Maxillofacial Surgery顎顔面矯正学分野
Maxillofacial Orthognathics顎顔面補綴学分野
Maxillofacial Prosthetics生体支持組織学講座
Bio-Matrix細胞生物学分野
Cell Biology病態代謝解析学分野
Medical Biochemistry運動器外科学分野
Joint Surgery and Sports Medicine硬組織構造生物学分野
Biostructural Science硬組織薬理学分野
Pharmacology結合組織再生学分野
Connective Tissue Regeneration硬組織病態生化学分野
Biochemistry分子情報伝達学分野
Cell Signaling無機材料学分野
Inorganic Materials歯周病学分野
Periodontology環境社会医歯学講座
Public Health健康推進医学分野
Health Promotion国際環境寄生虫学分野
Environmental Parasitology法医学分野
Forensic Medicine国際保健医療協力学分野
International Health and Medicine政策科学分野
Health Care Management and Planning分子疫学分野
Molecular Epidemiology研究開発学分野
Research Development医療政策情報学分野
Health Policy and Informatics先進倫理医科学分野
Life Sciences and Bioethics法歯学分野
Forensic Dentistry医療経済学分野
Health Care Economics歯学教育開発学分野
Dental Education Development健康推進歯学分野
Oral Health Promotionスポーツ医歯学分野
Sports Medicine and Dentistry歯学教育システム
評価学分野教育メディア開発学分野
Educational Media Development老化制御学講座
Gerontology and Gerodontology血流制御内科学分野
Geriatrics and Vascular Medicineリハビリテーション医学分野
Rehabilitation Medicine高齢者歯科学分野
Gerodontology全人的医療開発学講座
Comprehensive Patient Care臨床検査医学分野
Laboratory Medicine救命救急医学分野
Critical Care Medicine心療・緩和医療学分野
Liaison Psychiatry and Palliative Medicine薬物動態学分野
Pharmacokinetics and Pharmacodynamics臨床医学教育開発学分野
Medical Education Research and Development救急災害医学分野
Acute Critical Care and Disaster Medicine臨床腫瘍学分野
Clinical Oncology障害者歯科学分野
Dentistry for Persons with Disabilities総合診療歯科学分野
General Dentistry歯科心身医学分野
Psychosomatic Dentistry歯科医療行動科学分野
Behavioral Dentistry顎関節口腔機能学分野
Temporomandibular Joint and Oral Function Psychiatry and Palliative Medicine認知行動医学講座
Cognitive and Behavioral Medicine神経機能形態学分野
Neuroanatomy and Cellular Neurobiologyシステム神経生理学分野
Systems Neurophysiology細胞薬理学分野
Pharmacology and Neurobiology分子神経科学分野
Molecular Neuroscience神経病理学分野
Neuropathology眼科学分野
Ophthalmology and Visual Science耳鼻咽喉科学分野
Otorhinolaryngology脳神経病態学分野
Neurology and Neurological Science精神行動医科学分野
Psychiatry and Behavioral Sciences脳神経機能外科学分野
Neurosurgery血管内治療学分野
Endovascular Surgery生体環境応答学講座
Bio-Environmental Response免疫アレルギー学分野
Immune Regulationウイルス制御学分野
Molecular Virology免疫治療学分野
Immunotherapeutics環境生物学分野
Cellular and Environmental Biology生体防御学分野
Biodefense Research病態細胞生物学分野
Pathological Cell Biology代謝応答化学分野
Pathological Biochemistry免疫応答制御学分野
Immunology発生発達病態学分野
Pediatrics and Developmental Biology膠原病・リウマチ内科学分野
Medicine and Rheumatology皮膚科学分野
Dermatology器官システム制御学講座
Systemic Organ Regulation人体病理学分野
Human Pathology細胞生理学分野
Physiology and Cell Biology分子細胞循環器学分野
Molecular Cellular Cardiology分子代謝医学分野
Molecular Medicine and Metabolism幹細胞制御分野
Stem Cell Regulation分子薬理学分野
Molecular Pharmacology細胞機能調節学分野
Molecular Cell Biology形質発現制御学分野
Functional Genomics統合エピゲノミクス分野
Epigenetics時間生物学分野
Chronobiology幹細胞医学分野
Stem Cell Biology統合呼吸器病学分野
Respiratory Medicine消化器病態学分野
Gastroenterology and Hepatology腫瘍外科学分野
Surgical Oncology循環制御内科学分野
Cardiovascular Medicine心臓統御麻酔学分野
Anesthesiology心臓血管外科学分野
Cardiovascular Surgery腎臓内科学分野
Nephrology生殖機能協働学分野
Comprehensive Reproductive Medicine腎泌尿器外科学分野
Urology食道・一般外科学分野
Esophageal and General Surgery呼吸器外科学分野
Thoracic Surgery先端医療開発学講座
Advanced Therapeutic Sciences臨床解剖学分野
Clinical Anatomyシステム発生・再生医学分野
Systems BioMedicine包括病理学分野
Comprehensive Pathology分子腫瘍医学分野
Molecular Oncology診断病理学分野
Surgical Pathology疾患モデル動物解析学分野
Experimental Animal Model for Human Diseaseシグナル遺伝子制御学分野
Signal Gene Regulation生体機能分子科学分野
Biofunctional Molecular Science医薬品化学分野
Medicinal Chemistry先端計測開発医学分野
Biomedical Devices and Instrumentation先端機器開発医学分野
Medical Instrument生体システム分野
Biosystem Regulation生体界面工学分野
Biointerface Engineering材料機能創成学分野
Materials Science and Bioengineering遺伝制御学分野
Genetic Regulation生命情報学分野
Bioinformatics遺伝子応用医学分野
Applied Gene Medicine分子細胞遺伝学分野
Molecular Cytogenetics遺伝生化学分野
Biochemical Genetics構造生物学分野
Structural Biology血液内科学分野
Hematology分子内分泌代謝学分野
Molecular Endocrinology and Metabolism肝胆膵・総合外科学分野
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery整形外科学分野
Orthopaedic and Spinal Surgery画像・核医学開発学分野
Investigative Radiology and Endoscopy

大学院 Graduate Schools

博士課程 Doctoral Program

生命理工学系専攻 Life Science and Technology

生命理工学講座 Life Science and Technology

環境遺伝生態学分野 Microbial Genomics and Ecology

センサ工学分野 Biomedical Devices and Instrumentation

バイオ情報分野 Biomedical Information

バイオエレクトロニクス分野 Bioelectronics

物質工学分野 Material-Based Medical Engineering

薬化学分野 Organic and Medicinal Chemistry

生命有機化学分野 Chemical Bioscience

金属生体材料分野 Metallic Biomaterials

無機生体材料分野 Inorganic Biomaterials

有機生体材料分野 Organic Materials

生命システム解析学分野 Biosystem Analysis

分子細胞生物学分野 Molecular Cell Biology

発生再生生物学分野

Developmental and Regenerative Biology

免疫学分野

Immunology

エピジェネティクス分野

Epigenetics

システム生命情報学分野

Computational Biology

分子構造情報学分野

Structural Biology

高次神経科学分野

Neuroscience

生体情報薬理学分野

Bio-informational Pharmacology

治療ゲノム学分野

Therapeutic Genomics

分子遺伝学分野

Molecular Genetics

環境エピゲノム分野

Epigenetic Epidemiology

ゲノム構造制御分野

Genome Structure and Regulation

理研生体分子制御学分野

RIKEN Molecular and Chemical Somatology

寄附講座 Endowed Departments

薬害監視学講座

Department of Pharmacovigilance

ナノメディスン (DNP) 講座

Department of Nanomedicine

応用腫瘍学講座

Department of Translational Oncology

分子肝炎制御学講座

Department for Hepatitis Control

軟骨再生学講座

Department of Cartilage Regeneration

消化管先端治療学講座

Department of Advanced Therapeutics for GI Diseases

整形外科先端治療開発学講座

Department of Orthopaedic Research and Development

睡眠制御学講座

Department of Sleep Modulatory Medicine

小児・周産期地域医療学講座

Department of Pediatrics, Perinatal and Maternal Medicine

東京医科歯科大学

地域小児医療調査研究講座

(東京都)

Department of Community Pediatric Health Science

慢性腎臓病病態治療学講座

Department of Chronic Kidney Disease

臓器代謝ネットワーク講座

Department of Organ Network and Metabolism

関節機能再建学講座

Department of Joint Reconstruction

女性健康医学講座

Department of Women's Health

生命情報解析開発学講座

Life Sciences and Bio-informatics

分子生命情報解析学分野

Biochemistry and Biophysics

形態・生体情報解析学分野

Anatomy and Physiological Science

生命機能情報解析学分野

Biofunctional Informatics

生体機能支援システム学分野

Biophysical System Engineering

大学院 Graduate Schools

保健衛生学研究科 Graduate School of Health Care Sciences

人材育成目標

看護学及び検査学の領域における専門的な知識・技術を熟知し、臨床現場で高度な実践能力を発揮するとともに、関連領域への幅広い知的・倫理的な理解・関心、並びに旺盛な研究心と問題解決型の思考力に基いて、専門領域の課題に対応する臨床指向型研究を積極的に推し進めることにより、国際的・学際的な視野から指導力、教育力を発揮できる人材の養成を基本理念としている。

博士(前期)課程

高度な実践能力、臨床現場での指導力、臨床指向型の研究能力を備えた専門職業人の育成、並びに優れた教育者、国際的・学際的な研究・実践リーダーとして活躍するための基礎作りを力を入れる。

博士(後期)課程

博士(前期)課程で培った専門職業人、臨床指向型研究者としての力量を基盤に、国際的・学際的な研究・実践のリーダーとして活躍すると共に、優れた実践者、研究者、教育者の教育を担い得る能力を有した人材を育成する。

博士(前期・後期)課程

Doctoral Programs (Master's Course-Doctor's Course)

総合保健看護学専攻 Comprehensive Health Nursing Sciences

地域・在宅ケア看護学講座

Community Health and Home Care Nursing

地域保健看護学分野

Community Health Nursing

在宅ケア看護学分野

Home Care Nursing

リプロダクティブヘルス看護学分野

Reproductive Health Nursing

精神保健看護学分野

Mental Health and Psychiatric Nursing

看護機能・ケアマネジメント開発学講座

Nursing Function and Care Management

生体・生活機能看護学分野

Fundamental Nursing and Life Support

生体検査科学専攻 Biomedical Laboratory Sciences

生命情報解析開発学講座

Life Sciences and Bio-informatics

分子生命情報解析学分野

Biochemistry and Biophysics

形態・生体情報解析学分野

Anatomy and Physiological Science

生命機能情報解析学分野

Biofunctional Informatics

生体機能支援システム学分野

Biophysical System Engineering

小児・家族発達看護学分野

Child and Family Nursing

先端侵襲緩和ケア看護学分野

Critical and Invasive-Palliative Care Nursing

高齢者看護・ケアシステム開発学分野

Gerontological Nursing and Health Care System

看護システムマネジメント学分野

System Management in Nursing

健康教育開発学講座

Health Care Education and Development

健康情報分析学分野

Analytical Health Science

健康教育学分野

Health Education

国際看護開発学分野

International Nursing Development

分子・遺伝子応用検査学講座

Moleculo-genetic Sciences

先端分析検査学分野

Analytical Laboratory Chemistry

生体防御検査学分野

Microbiology and Immunology

分子病態検査学分野

Molecular Pathology

先端血液検査学分野

Laboratory Molecular Genetics of Hematology

先端生体分子分析学分野

Advanced Analytical Chemistry

大学院 Graduate Schools

生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program

*平成23年度募集終了

*平成24年度より医歯学総合研究科へ統合

博士(前期・後期)課程

Doctoral Programs (Master's Course-Doctor's Course)

バイオ情報学専攻

Bioinformatics

高次生命科学専攻

Functional Biology



M&Dタワー

学部 Faculties

医学部 Faculty of Medicine

医学科 School of Medicine

保健衛生学科 School of Health Care Sciences

看護学専攻

Nursing Science

検査技術学専攻

Medical Technology

理念

医学部は1951年に設立され、現在は医学科と保健衛生学科からなっている。医学科の授業科目としては、機能形態学、機能協関学、分子遺伝学、感染免疫学、病因病態学、環境社会医学、全人診療学、内科学、小児医学、精神医学、外科学、感覚器医学、皮膚医学、女性医学、尿路生殖医学がある。保健衛生学科は看護学専攻と検査技術学専攻とからなる。看護学専攻の科目には基礎・臨床看護学と地域保健看護学があり、検査技術学専攻の授業科目には基礎検査学と病因・病態検査学がある。

医学科と保健衛生学科は、国内にとどまらず世界の医療現場においてリーダーとなりうる優秀な学生を歓迎する。さらに、本学は他の人々に深い配慮と豊かな想像力を持ち、国民の健康に貢献しようという強い意志を持った学生を求めている。

東京医科歯科大学の3つの教育理念に基づき、医学部の全教職員は学生が学術的・臨床的知識を習得し、臨床の場では高い技術を備えるよう指導するとともに、研究意欲に富み、すぐれた人格と洞察力を持つ医療人を育てよう努める。本学学生の大多数が、国内・世界の人々に貢献できることを望んでいる。

保健衛生学科の教育理念は、豊かな教養と高い倫理観に基づくものである。自ら学び研究し、創意工夫をすることができる医療人を育て、個々に応じた指導を目指している。学際的視点に立ち看護学・検査学それぞれの領域への専門的な教育を提供している。

歯学部

Faculty of Dentistry

歯学科

School of Dentistry

教育理念

豊かな人間性を有し、使命感をもって全人的な歯科医療を実践し、国民の健康維持・増進に寄与するとともに、国際的視野から歯科医学・歯科医療の向上に貢献できる指導者を育成する。

教育目標

- 幅広い教養を身につけ、歯科医師としての豊かな人間性を培う。

口腔保健学科

School of Oral Health Care Sciences

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

- 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
- 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
- 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
- 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
- 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
- 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
- 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。

附属教育研究施設 | Affiliated Educational and Research Facilities

附属歯科技工士学校

School of Dental Technologists

歯科技工に関する高度の技術を授ける。

*平成24年度募集終了、平成26年度廃止予定

- 基本的な科学原理と概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 科学的探究心を持ち、自ら問題を発見し、解決する能力を身につける。
- 全身の常態と病態を理解した上で、口腔・頭蓋・顎・顔面領域の疾患の予防、診断、治療に関する知識と基本的技術を修得する。
- 社会における歯科医学・医療の役割とその重要性を理解する。

- QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

口腔保健衛生学専攻

Oral Health Care Sciences

生涯口腔保健衛生学分野
Lifetime Oral Health Care Sciences健康支援
口腔保健衛生学分野
Oral Care for Systemic Health Support口腔疾患予防学分野
Preventive Oral Health Care Sciences地域・福祉
口腔保健衛生学分野
Oral Health Care Science
for Community and Welfare口腔健康教育学分野
Oral Health Care Education口腔保健衛生基礎学分野
Basic Sciences of Oral Health Care

口腔保健工学専攻

Oral Health Engineering

口腔保健基礎工学講座
Fundamental Oral Health Engineering口腔基礎科学分野
Basic Oral Health Science口腔保健工学統合学分野
Comprehensive Oral Health Engineering口腔臨床科学分野
Oral Clinical Science口腔保健機材工学講座
Oral Materials Science and Technology情報歯科医療工学分野
Oral Health Information Technology生体材料加工学分野
Oral Biomaterials Engineering口腔保健再建工学講座
Oral Prosthetic Sciences歯冠修復技工学分野
Fixed Prosthetic Engineering口腔機能再建技工学分野
Oral Prosthetic Engineering

教養部

College of Liberal Arts and Sciences

理念

教養部は、本学の教育理念に沿って、将来、国際的に活躍する医療人を育成するため、さまざまな文化や多様な世界を理解できる幅広い教養と、他者を理解するための豊かな感性を備えた人間を育むことを目指しています。医療を志して入学した若者にまず必要とされるのは、専門教育で獲得される医の知識や技術ではなく、市民社会の一員としての自覚に基づく他者を思いやる心と、高度な倫理観、そして、その上に立った他者とのコミュニケーションをはかる能力です。国立大学で現在、唯一設置されている教養部における教養教育は、このような使命を担っています。

また、大学院大学としての本学の社会的要請に応え、将来の優れた研究者となる人材を育成すべく、入学時からリサーチマインドを涵養するための自然科学教育のプログラムを提供し、自己問題提起・自己問題解決型の創造的人間の養成を目指します。

上に述べた教養教育の理念に基づき、教養部では次の4つの力を学生に獲得させることを教育の理念として掲げています。

- 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性
- 科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力
- 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力
- 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術

人間科学系

Human Sciences

人文社会科学分野
Humanities and Social Sciences哲学
Philosophy文学
Literature社会学
Sociology保健体育学分野
Health Sciences and Physical Education

自然科学系

Natural Sciences

数学分野
Mathematics物理学分野
Physics化学分野
Chemistry生物学分野
Biology

外国語系

Foreign Languages

英語分野
English第二外国語分野
Additional Foreign Languagesドイツ語
Germanフランス語
French中国語
Chinese

ヒボクラテスホール (校舎棟)



シャン・ドウ・コースリー

研究所

Research Institutes

生体材料工学研究所

Institute of Biomaterials and Bioengineering

理念

当研究所の前身である歯科材料研究所が昭和26年にスタートし、その後、半世紀以上に渡って歯科材料を含む生体材料学と医用器材の研究に特化した附置研究所として、他に先駆け医歯工連携の歴史を綴ってきました。この間、昭和41年に医用器材研究所として、平成11年には現在の生体材料工学研究所(略称:生材研)として発展的に改組・改称され、さらに平成24年度の改組により現在の医療基盤材料、生体機能修復、医療デバイス、生体機能分子の4大研究部門、12分野に拡大するとともに、医歯工連携実用化施設を新設しました。これまでに世界に先駆け、「活性型ビタミンD製剤の開発」「抗血栓性ポリマー(MPC)の開発」「超弾性型Ti-Ni合金ワイヤーの開発」「人工パタイトの製造」などの研究成果を世に出し、基礎から医用デバイス、医療製品の開発に至る、生体材料工学に関する世界の研究拠点として活動してきました。平成16年の国立大学の法人化に伴い策定した、当研究所の第一期中期計画は順調に推移し、平成22年から新たに開始した第二期中期計画においても、バイオマテリアル・バイオエンジニアリングに関する学際的基礎を深化させ、分子デバイスから人工臓器を包含する先端的応用研究を以下の通り推進しています。

1. 疾病に関する分子情報の集積や機能分子創製による、先端医療ナノバイオサイエンス
2. バイオインスパイアード・バイオマテリアルの創製と応用研究
3. バイオシステムエンジニアリングの先端医療への応用研究

わが国の研究環境は激変していますが、飛躍のための好機と捉え、世界に冠たる研究機関としての礎を一層強固にしつつあります。また、若い優秀な人材が魅力を感じる研究所作りを目指しています。

医療基盤材料研究部門 Biomedical Materials

金属生体材料学分野
Metallic Biomaterials

無機生体材料学分野
Inorganic Biomaterials

有機生体材料学分野
Organic Biomaterials

生体機能修復研究部門 Biofunctional Restoration

生体材料機能医学分野
Material Biofunctions

物質医工学分野
Material-based Medical Engineering

バイオメカニクス分野
Biomechanics

医療デバイス研究部門 Medical Devices

バイオエレクトロニクス分野
Bioelectronics

バイオ情報分野
Biomedical Information

センサ医工学分野
Biomedical Devices and Instrumentation

生体機能分子研究部門 Biomolecular Chemistry

メディシナルケミストリー分野
Medicinal Chemistry

生命有機化学分野
Chemical Bioscience

薬化学分野
Organic and Medicinal Chemistry

医歯工連携実用化施設 Medical and Dental Device Technology Incubation Center



生体材料工学研究所



研究所

Research Institutes

難治疾患研究所

Medical Research Institute

理念

東京医科歯科大学難治疾患研究所は、難治疾患病態発現の“学理”と“応用”、すなわち、基本原理を理解し、その診断、治療法を開発することを目指している。これらの難治疾患としては、がん、心血管、神経、運動器、代謝、免疫の広範囲にわたる。我々は、また、発生、分化の基本原理や難治疾患の新規治療法の開発をもたらすであろう幹細胞の研究を進展させようとしている。この目的達成のために、分子、細胞、そしてモデル動物までにわたる一流の研究者を集め、その結果、ヒトを含む生物全般に共通して働く分子機構を明らかにし、難治疾患に関わる臨床と実験試料の多大なリソースを集積してきた。

特に、本研究所は、文部科学大臣による「共同利用、共同研究拠点」の認定制度に基づき、「難治疾患共同研究拠点」(認定の有効期間:平成22年4月1日~平成28年3月31日)として認定された。その主なミッションは、以下の通りである。

1. 難治疾患の病因・病態形成機構解明と診断・予防・治療法開発の基盤形成に資する共同利用・共同研究拠点構築を目的とする。
2. 「疾患バイオリソース」、「疾患モデル動物」、「疾患オミックス」の3つの難治疾患研究リソースを活用した公募型の戦略的難治疾患克服共同プロジェクトを推進する。
3. 国内外の研究者に、上記のリソース群へのアクセスや現有する先端解析支援施設の利用機会の提供を行ない、本邦の難治疾患研究の広範な発展に貢献する。
4. 難治疾患研究に携わる若手研究者の育成・支援システムを整備する。
5. シンポジウム等の開催により、難治疾患研究の啓発と最先端情報の発信に努める。

また、本研究所は、医歯学の学生、大学院学生の教育、若手研究者の育成に深く関与するとともに、海外の多くの研究機関との協定を結び、国際的なプラットフォームを形成している。難治疾患研究を志す国内外の多くの学生、研究者に広く開かれた研究所を目指す。

先端分子医学研究部門 Advanced Molecular Medicine

分子代謝医学分野
Molecular Medicine and Metabolism

分子薬理学分野
Molecular Pharmacology

分子細胞生物学分野
Molecular Cell Biology

分子神経科学分野
Molecular Neuroscience

生体防御学分野
Biodefence Research

生体情報薬理学分野
Bio-informational Pharmacology

幹細胞制御分野
Stem Cell Regulation

分子構造情報学分野
Structural Biology

フロンティア研究室
(低酸素生物学)
Oxygen Biology

プロジェクト研究室
Project Research Unit

難治病態研究部門 Pathophysiology

神経病理学分野
Neuropathology

病態生化学分野
Pathological Biochemistry

病態細胞生物学分野
Pathological Cell Biology

発生再生生物学分野
Developmental and Regenerative Biology

幹細胞医学分野
Stem Cell Biology

免疫疾患分野
Immunology

分子病態分野
Molecular Pathogenesis

フロンティア研究室
(ウイルス治療学)
Frontier Research Unit
Virus Research Unit

プロジェクト研究室
Project Research Unit
Stress Bio-Marker Research

ゲノム応用医学研究部門 Medical Genomics

分子細胞遺伝学分野
Molecular Cytogenetics

分子遺伝学分野
Molecular Genetics

分子疫学分野
Molecular Epidemiology

遺伝生化学分野
Biochemical Genetics

形質発現分野
Functional Genomics

エピジェネティクス分野
Epigenetics

生命情報学分野
Bioinformatics

フロンティア研究室
(レドックス応答細胞生物学)
Frontier Research Unit
Redox Response Cell Biology

プロジェクト研究室
Project Research Unit
Neuroinformatics

連携研究部門 Division of Integrative Research

機能構築
Division of Biosystem Generation

病態発現機構
Division of Pathogenetic Regulation

大学院教育研究支援 実験施設 Advanced Technology Laboratory

ゲノム解析室
Genome Laboratory

細胞プロテオーム解析室
Laboratory of Cytometry and Proteome

遺伝子組換えマウス実験室
Laboratory of Recombinant Animals

形態機能解析室
Laboratory of Anatomy and Cell Function

バイオリソース支援室
Bioresource Laboratory

構造解析室
Laboratory for Structure Analysis

幹細胞支援室
Stem Cell Laboratory



ゲノム解析室



形態機能解析室



細胞プロテオーム解析室



バイオリソース支援室

図書館 Library

図書館情報メディア機構

Institute for Library and Media Information Technology

教育メディア開発部

Department of Educational Media Development

図書館情報メディア機構の教員組織。

メディア教育推進部門

Media Education Division

e-learning 及びメディア教育を実施する部局の連絡調整に関すること。

図書館・国府台分館

Library / Kounodai Branch Library

図書及びその他資料等の収集、選定等に関すること。

図書及び施設等の利用に関すること。

理念

学術情報の電子化が進み、情報流通形態が歴史の変革を遂げ、また利用者の情報利用行動が大きく変わりつつある中で、大学図書館には新たな役割が求められている。特に、強化すべき機能として、「大学の特色等を活かした戦略的な紙媒体資料の収集・保存の必要性」「さまざまな学術資料の収集・保存体制の確立・強化」「電子化を活用した狭隘化等への対策」「大学図書館における基盤設備の整備の必要性」という4点が今後の大学図書館に求められている。本附属図書館もこれを踏まえ、「情報利用サービスの拡大」「学内情報資源の集約・組織化」「利用者の量的・質的拡大に向けた戦略」の3点に重点を置き、下記のとおり構想を重ねている。

1. 情報利用サービスの拡大

図書目録の電子化 / 電子媒体の充実と見直し / 情報コンセントの設置 / 閲覧座席数の大幅増・多目的化 / 図書館利用者の拡大と導入機器の充実

2. 学内情報資源の集約・組織化

研究関連情報としては各分野が保管する研究関連資料 / 学習内容等を対象とした講義自動集録システムによる e-learning システムの活用

3. 利用者の量的・質的拡大に向けた戦略

情報リテラシー教育の拡大 / 利用者の多目的なニーズへの対応 / 快適な閲覧空間の創造



図書館ロビー (M&Dタワー 3F)

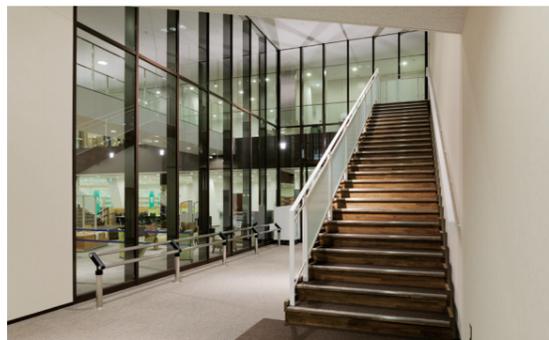
(平成23年度 Fiscal Year 2011)

	図書館 Library	国府台分館 Kounodai Branch Library
	平日 8:30~22:00 土・日・祝日 8:30~17:00	平日 9:00~22:00
蔵書数	和書	93,726冊
	洋書	122,779冊
	計	216,505冊
	図書館と国府台分館の合計	和書 165,517冊
	図書館と国府台分館の合計	洋書 140,331冊
	図書館と国府台分館の合計	計 305,848冊
施設	面積	2,222m ²
	書庫	388m ²
	事務室・その他	2,034m ²
	計	4,644m ²
利用状況	座席数	301席
	開館日数	358日
	入館者数	134,873人
	館外貸出冊数	学生 13,720冊 教職員 3,353冊
		学生 2,155冊 教職員 284冊

情報基盤部門

Information Technology Division

学内ネットワークに関すること。
 全学共同利用サーバの管理・運用に関すること。
 情報セキュリティの実施に関すること。
 本学公式ホームページの技術的管理に関すること。
 研究情報データベースに関すること。



その他の施設等 Other Institutes

全国共同利用施設 | Nationwide Joint Institutes

医歯学教育システム 研究センター

Center for Education Research in Medicine and Dentistry

医学・歯学教育のモデル・コア・カリキュラム及び医学・歯学教育における学習知識と技能・態度に関する到達度評価法を調査研究し、わが国の医師・歯科医師の養成に貢献すること。

学内共同教育研究施設 | Joint Institutes for Education and Research

医歯学研究支援センター

Research Center for Medical and Dental Sciences

疾患遺伝子部門

Human Gene Sciences Research Division

基礎・臨床疾患遺伝子分野に関する教育及び研究。

機器分析部門

Instrumental Analysis Research Division

機器分析技術の開発、研究、教育及び分析機器の利用提供と共同利用の推進。

アイソトープ部門

General Isotope Research Division

放射線・ラジオアイソトープ関連分野に関する教育及び研究。

若手研究者インキュベーション部門

Advanced Young Researchers Incubation Division

若手研究者による独立した研究の推進。

実験動物センター

Center for Experimental Animal

動物実験及び動物の飼育管理、並びに疾患モデル動物の開発とその研究。

国際交流センター

International Exchange Center

国際交流に関する統括的な業務の実施及び国際交流の推進。

生命倫理研究センター

Life Science and Bioethics Research Center

本学における臨床研究計画の立案や研究倫理審査を支援し、先端研究の活性化に貢献するとともに、実践的医療人育成のための生命倫理学教育体系の効率化をはかること。

医歯学融合教育支援センター

Center for Interprofessional Education

本学の教育資源を有効に活用し、高齢化社会に対応する包括的医療教育の推進及び教育の質の維持・向上を図るため、医歯学融合型教育を新たに構築し、高度かつ効率的な教育体制を整備すること。

保健管理センター

Health Service Center

本学の保健管理の充実を図るための専門的業務を行うとともに、学生及び職員の健康の保持増進を図ること。

スチューデントセンター

Student Center

本学の学生に対し、生活、修学、就職、メンタルヘルス及びハラスメントに関することなど本学におけるキャンパスライフ全般にわたり、全学的に支援を行い、もって学生支援活動の充実を図ること。

女性研究者支援室

Support Office for Female Researchers

本学の女性研究者の研究活動を支援するための支援策に係る企画立案等を行うこと。

病院運営企画部

Hospital Administration Planning Division

附属病院の財務経営戦略の立案及び実行並びに経営状況の分析及び管理。

研究・産学連携

Research & Industry Collaboration

研究・産学連携推進機構

TMDU Research Organization

本学における研究戦略の策定及び研究活動等への支援並びに知的財産の創出支援、保護及び活用を通じた産学連携の推進に資すること。

研究推進本部

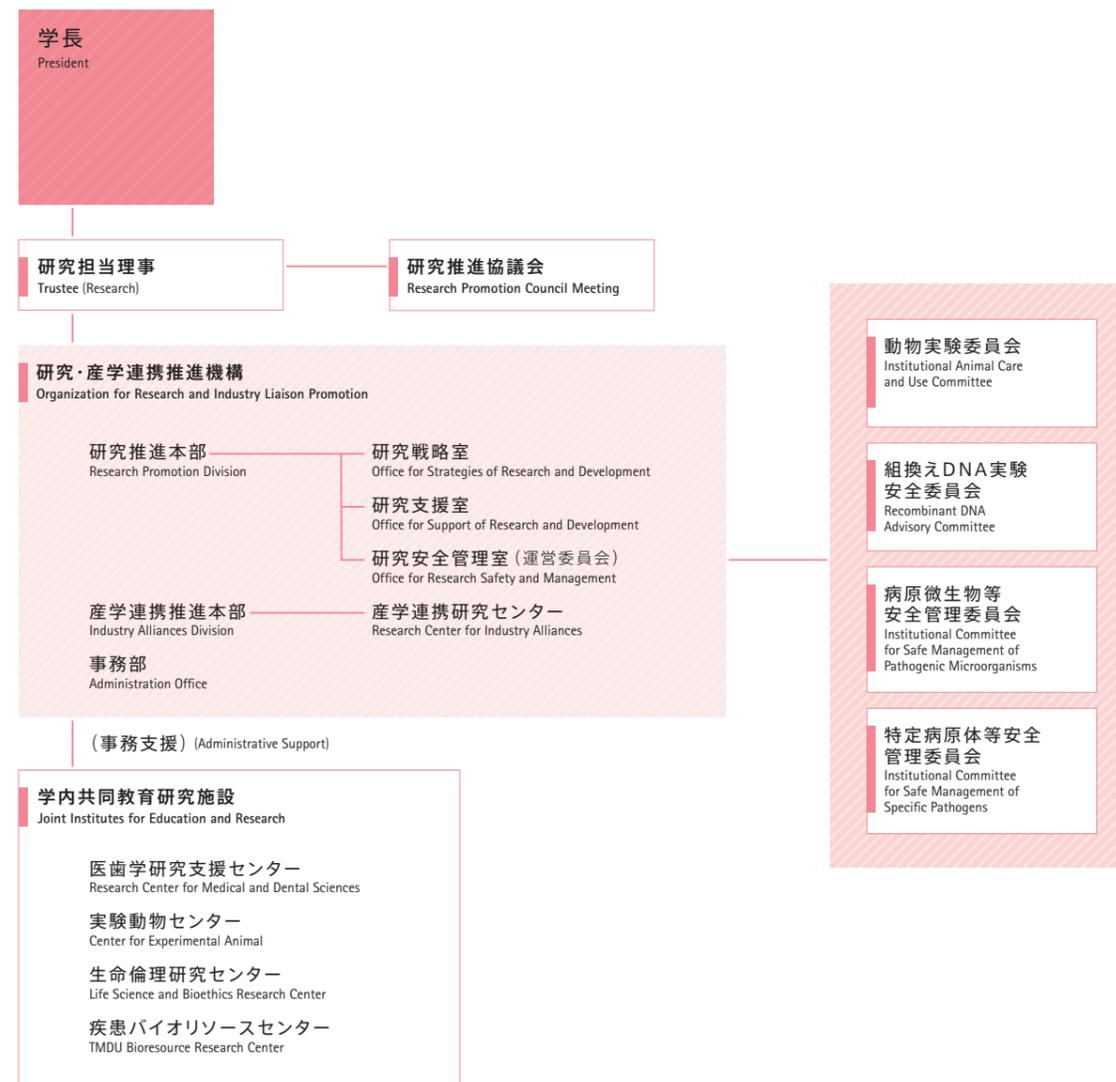
Research Promotion Division

本学における研究戦略の策定及び研究活動等を支援すること。

産学連携推進本部

Industry Alliances Division

本学の活動を活性化するために、国内外における産学連携を推進し、知的財産の創出支援、保護、維持、管理活用および社会への還元を通じて、社会に貢献すること。



附属病院

University Hospitals

医学部附属病院

University Hospital of Medicine

歯学部附属病院

University Hospital of Dentistry

理念

大学の基本理念を踏まえ、医学部附属病院および歯学部附属病院は、全人的医療人育成の実践的培地であると同時に一流の医歯学研究者、臨床医、臨床歯科医およびコ・メディカル職員が活躍する場と考え、それぞれの使命と責務の達成に取り組んでいる。

附属病院の最終目標は医歯学領域における現在、未来への社会貢献である。

ここでいう臨床医歯学の社会貢献とは、

1. 病者に最善の医療を提供して可能な限り発病以前の充実した社会生活ができるようにする
2. 予防医学や臨床的研究成果の活用により疾病の発生を防止する
3. 臨床治療成果を医療へ迅速に展開し、疾患治癒率の向上をはかる
4. 社会的要請に応える実践的医療人の育成
5. 臨床研修施設や大学附属病院において臨床指導を実践する医療人の育成
6. 将来の医療を考え次世代の医療の実践や人材養成を可能とする教育・研究者の育成

などが上げられる。これらを実現するために、

1. 学部学生への充実した臨床教育および卒業後臨床研修への厚い指導層と症例数など拡充整備された医療環境の提供

2. 受診者への良質で安全な医療の提供
3. 首都、首都圏、関東甲信越圏などの地域中枢病院との人的・機能的連携ならびに国際的な医療貢献とそのための支援体制の構築
4. 広域な連携病院との臨床治験を含めた臨床研究の実践と広域医療レベル向上策の実施
5. 連合大学との連携による横断的研究体制と学内の基礎医学分野との連携による縦断的研究体制を組み合わせたマトリックス構想による先進医療の開発とその実践
6. 国民への安心・安全な医療提供を目指した病院の安全管理および経営の実学的構築

以上6項目の基本使命を掲げ、各附属病院が今後取り組んでいくべき具体的計画を作成した。

医学部附属病院では、国内地域医療上の課題への対応と解決策の提示を行うとともに、臨床研究や最先端医療面では国際的観点から、絶えず世界的貢献を視野に難治疾患や難手術などに新たな治療法の確立を目指す。また、歯学部附属病院では、今後ますます優れた医療人の育成に努め、患者一人ひとりにあった安全で質の高い歯科医療を実践し、口腔の健康増進を通して社会に貢献していくことを目指す。附属病院の安定した運営は、大学経営にとっても非常に重要であることを踏まえ、継続的な努力を行い、学部学生や大学院生の教育並びに先進的な研究の推進に資する。



医学部附属病院

歯学部附属病院

附属病院 University Hospitals

医学部附属病院 University Hospital of Medicine

病床数: 800Beds

診療科 Clinics

内科系診療部門 Department of Internal Medicine

- | | |
|--|--|
| 血液内科
Hematology | 老年病内科
Geriatrics |
| 膠原病・リウマチ内科
Medicine and Rheumatology | 消化器内科
Gastroenterology and Hepatology |
| 糖尿病・内分泌・代謝内科
Diabetes, Endocrinology and Metabolism | 循環器内科
Cardiovascular Medicine |
| 腎臓内科
Nephrology | 呼吸器内科
Pulmonary Medicine |

外科系診療部門 Department of Surgery

- | | |
|--|----------------------------------|
| 食道・胃外科
Esophageal and Gastric Surgery | 心臓血管外科
Cardiovascular Surgery |
| 大腸・肛門外科
Colorectal Surgery | 呼吸器外科
Thoracic Surgery |
| 肝胆膵外科
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery | 泌尿器科
Urology |
| 乳腺外科
Breast Surgery | 頭頸部外科
Head and Neck Surgery |
| 血管外科
Vascular Surgery | |

感覚・皮膚・運動機能診療部門 Department of Sensory, Motor System Medicine and Dermatology

- | | |
|--------------------------------|--|
| 眼科
Ophthalmology | 形成・美容外科
Plastic, Reconstructive and Aesthetic Surgery |
| 耳鼻咽喉科
Oto-Rhino-Laryngology | 整形外科
Orthopaedic Surgery |
| 皮膚科
Dermatology | |

小児・周産・女性診療部門 Department of Pediatrics, Maternal and Woman's Clinic

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 小児科
Pediatrics | 遺伝子診療外来
Clinical Genetics Division |
| 周産・女性診療科
Maternal and Woman's Clinic | |

脳・神経・精神診療部門 Department of Neurology, Neurosurgery and Neuropsychiatry

- | | |
|--------------------------------|---|
| 脳神経外科
Neurosurgery | 精神科
Neuropsychiatry |
| 神経内科
Neurology | 心身医療科
Psychosomatic and Palliative Medicine |
| 血管内治療科
Endovascular Surgery | 麻酔・蘇生・
ペインクリニック科
Anesthesiology and Pain Clinic |

放射線診療部門 Department of Radiology

画像診断・放射線治療科
Diagnostic Radiology and Oncology

救命救急センター Trauma and Acute Critical Care Medical Center

中央診療施設等 Central Clinical Facilities

- | | |
|---|---|
| 薬剤部
Department of Pharmacy | 臨床試験管理センター
Clinical Research Center |
| 検査部
Clinical Laboratory | 臨床教育研修センター
Center for Postgraduate Medical Education |
| 手術部
Operating Center | 高気圧治療部
Hyperbaric Medical Center |
| 放射線部
Radiological Center | MEセンター
Medical Engineering Center |
| 輸血部
Hospital Blood Transfusion Center | 細胞治療センター
Center for Cell Therapy |
| 理学療法部
Physical Medicine Center | 低侵襲医学研究センター
Center for Minimally Invasive Surgery |
| 集中治療部
Intensive Care Unit | 不整脈センター
Heart Rhythm Center |
| 材料部
Supply Unit | 病歴管理部
Department of Medical Records |
| 分娩部
Maternal Fetal Medicine Division | 安全管理対策室
Quality Management Section |
| 病理部
Department of Pathology | 感染対策室
Infection Control Section |
| 光学医療診療部
Department of Endoscopy | スポーツ医学診療センター
Sports Medical Center |
| 医療情報部
Department of Medical Informatics | 快眠センター
Clinical Center for Pleasant Sleep |
| 血液浄化療法部
Department of Blood Purification | 腫瘍センター
Cancer Center |
| 総合診療部
Department of General Medicine | 臨床栄養部
Department of Nutrition |
| 核医学・PETセンター
Positron Emission Tomography Center | |
| 医療連携支援センター
Center for Medical Welfare and Liaison Services | |

看護部 Nursing Department

附属病院 University Hospitals

歯学部附属病院 University Hospital of Dentistry

病床数: 60Beds 治療台: 317 Chair Units

診療科 Hospital Departments

育成系診療科 Clinics for Dentofacial Growth and Development

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 矯正歯科外来
Orthodontics | 小児歯科外来
Pediatric Dentistry |
|------------------------|-------------------------------|

維持系診療科 Clinics for Conservation of Oral and Maxillofacial Function

- | | |
|--|--|
| むし歯外来
Operative Dentistry and Endodontics | 歯科心身医療外来
Psychosomatic Dentistry Clinic |
| 歯周病外来
Periodontics | 顎関節治療部
Temporomandibular Joint Clinic |
| ペインクリニック
Orofacial Pain Clinic | |

回復系診療科 Clinics for Oral and Maxillofacial Rehabilitation

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 口腔外科外来
Oral Surgery | スポーツ歯科外来
Sports Dentistry |
| 顎顔面外科外来
Maxillofacial Surgery | 言語治療外来
Speech Clinic |
| 義歯外来
Prosthodontics | インプラント外来
Dental Implant Clinic |
| 顎義歯外来
Maxillofacial Prosthetics | |

総合診療科 Clinics for General Dentistry

- | | |
|--|--|
| 歯科総合診療部
Oral Diagnosis and General Dentistry | スペシャルケア外来
Special Care Clinic |
| 第1総合診療室
General Dentistry I | (専)摂食
リハビリテーション外来
Dysphagia Rehabilitation |
| 第2総合診療室
General Dentistry II | 息さわやか外来
Fresh Breath Clinic |
| 第3総合診療室
General Dentistry III | クリーンルーム 歯科外来
Cleanroom |
| 歯科麻酔外来
Ambulatory Anesthesia Service | 口腔ケア外来
Oral Health Care |
| 歯科放射線外来
Oral and Maxillofacial Radiology Clinic | 歯科アレルギー外来
Dental Allergy |

中央診療施設等 Clinical Laboratory

- | | |
|--|--|
| 検査部
Clinical Laboratory | 歯科医療情報センター
Center for Dental Information |
| 歯科技工部
Dental Laboratory | 歯科器材・
薬品開発センター
Center for Development of
Devices and Drugs in Dentistry |
| 医療安全管理室
Section of Clinical Safety Management | 中央手術室
Division of Surgical Operation |
| 感染対策室
Section of Infection Control | 歯科病棟
Dental Ward |
| 診療情報管理室
Section of
Clinical Information Management | 中央器材室
Section of Central Supplies |
| 歯科臨床研修センター
Center for
Advanced Dental Clinical Education | |
| 地域歯科医療
連携センター
Center for Clinical Cooperation | |

薬剤部 Department of Pharmacy

看護部 Department of Nursing

歯科衛生保健部 Department of Dental Hygiene

グローバルCOEプログラム

Global COE Program

「グローバルCOEプログラム」は東京医科歯科大学においては2008年に文部科学省により採択されました。本プログラムは2003年から開始された「21世紀COEプログラム」の評価・検証を踏まえてさらに予算を拡充し、全国の14拠点に限定して重点化されたものです。このプログラムは大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図ること、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し国際競争力のある大学づくりを推進することを目的としています。

歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点

事業推進責任者
難治疾患研究所
野田 政樹 教授

グローバルCOEプログラム：歯と骨の分子疾患科学の国際教育研究拠点（ーデント・メドミクスのインテリジェンスハブ）の理念は新しい「若手に対する重点教育」による育成システムを創造推進することです。

本拠点においては、2008年の採択以来世界の最先端の研究成果が挙げられ、また国内外の一流の研究機関にて活躍する優秀な若手が育成され、研究レベルの上でも着実な発展を遂げています。臨床的にも本拠点から発表された治療の研究は特筆すべきであり、その成果は、多くのメディアにより報道されています。2010年の中間評価において医学系14拠点の中でも特に秀れた2拠点の1つに選ばれています（http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/globalcoe/afieldfile/2011/03/11/1302857_02_1.pdf）。事業推進担当者は優れた研究を推進し、本拠点から多数の業績を発信するとともに外部資金を充実させ、大学院に新たな教育方式を取り入れ、人材を養成するなど研究、教育、診療にわたり本領域の発展に貢献しています。

本プログラムの目的は、世界で最も高齢化の進行する我が国において、人が生きる為に必須の「歯と骨」の疾患の分子病態とその再建・治療について、新たに新領域の研究者を加え最先端の研究をさらに推進し、現在の国際教育推進体制を推進し、次世代を担う「世界で活躍する若手研究者」を育成することです。

生命的な寿命のみならず「健康寿命」をいかに維持するか

に重要な「歯と骨」の硬組織は、加齢により量・質共に喪失が進行し、これを完全に止めることは尚困難です。そこでいかにこれを「治療・再建」するかが緊急の課題で、ここに本研究の必要性があり国民の健康上の課題としての重要性があります。本拠点の期待される効果は、世界の最先端の「歯と骨」の領域における実績に基づき、

1. さらにこれまでにない、先導的研究を歯と骨の研究領域に導入し、引き続き世界のトップとして牽引すること
2. 我が国の「歯と骨に関わる国民の健康増進」に寄与すること
3. また次世代の国際的に活躍する優秀な若手研究者を育成すること

です。現在推進する拠点活動は、これまでの本領域における実績に加え、その規模と質の両面で高い評価を基盤とした基礎ならびに臨床研究を推進する歯と骨の研究領域における世界最高レベルの教育研究であり、歯と骨の疾患の分子病態のメカニズムならびにその先進的治療法開発を実現する研究を推進し、国際的に活躍する若手研究者を育成するものです。

本拠点の研究活動の重点は、

1. 歯と骨の喪失に至る疾患の分子病態成立のメカニズムの解明
2. 歯と骨の先進的再建の為の診断治療法の基盤研究の推進
3. 歯と骨の疾患の機能ゲノム研究の推進

にあります。

本拠点のホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/cmn/gcoe/index.html>



看護師の人材養成システムの確立

Development of Human Resource System for Nurses

本事業は文部科学省大学改革推進事業で、大学病院看護部と自大学看護系の学部・看護学科が連携して、体系立てられた臨床研修方法や体制等を学問的検討を行って開発し、臨床の看護職及び基礎教育課程の教育レベルを向上させることにより、効率的・継続的な専門能力の習得と向上が図られ、国内の安心・安全な看護提供体制を構築することを目的としています。

看護職IKASHIKAキャリアパスの開発

メンター・PBL方式による

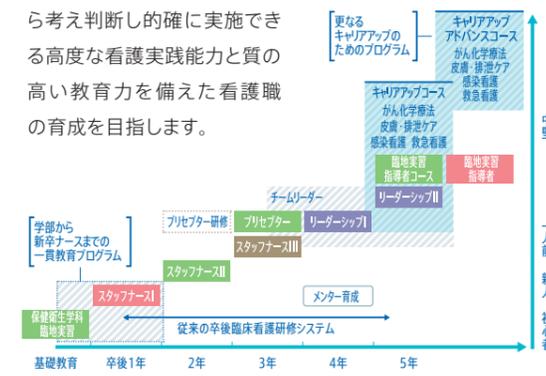
本学のプランでは、キャリア形成を系統的、効果的に支援するために本学オリジナルの「看護職IKASHIKAキャリアパス」を作成、実施し、メンタリングと問題基盤型学習（PBL: Problembased learning）技法を取り入れ、各人の目標達成を支援することを目指しています。このキャリアパスは、学生からエキスパートに至る看護職発達モデルに基づく一貫した支援システムであり、各段階に明確な到達目標が提示されます。具体的には図に示すように、基礎教育からキャリアアップコースまで段階的にスキルアップしていき、メンター教育も取り入れたキャリアパスとなっています。

この取り組みでは看護部と保健衛生学科との人事交流についても重視しています。たとえば医学部附属病院の看護師による看護学生の演習指導や看護教員の院内研修制度、共同運営による看護専門外来の開設等を推進します。また、看護技術力の習得、向上を目的とした「看護アーツルーム」を開設し、学

事業推進責任者
医学部附属病院看護部長
小牟田 智子

生や看護師がいつでも自由に看護技術を学ぶことができます。

これらのプランにより、自ら考え判断し的確に実施できる高度な看護実践能力と質の高い教育力を備えた看護職の育成を目指します。



看護職IKASHIKA キャリアパス(案)
既存の研修プログラムに加え、新プログラムを青色で示した。パスは、縦軸にキャリアステップアップ、横軸に経験年数をプロットした。

大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成

Training of Distinguished Specialists by Mutual Cooperation between University Hospitals

本事業は、複数の大学病院が緊密に連携・協力し、それぞれの得意分野での相互的な補完を図ることで幅広い経験を持った付加価値のある医師を養成することを目的としています。また、大学病院の若手医師に多様なキャリアパスを明確に示すことにより、若手医師が将来に希望を持ちながら安心して研修に専念でき、国民の要請に応えられる質の高い専門医や臨床研究者の養成に貢献することを目指しています。

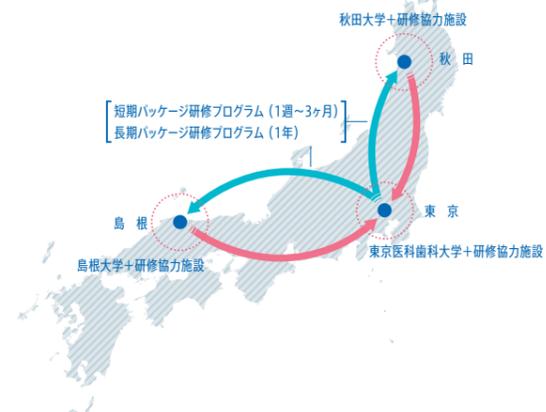
都会と地方の協調連携による高度医療人養成

「付加価値」を身につけるテラーメイド研修

東京医科歯科大学・秋田大学・島根大学の医学部は、平成19年度より広域連携臨床研修プログラムを創設し、初期臨床研修における3大学間の連携を行っていましたが、平成21年度より専門医および家庭医を育成する後期臨床研修においても連携を開始しました。

3大学が提供する短期(1週~3ヶ月)および長期(1年)パッケージ研修を活用し、各病院を循環することで幅広い経験を持った付加価値のある専門医・家庭医になるための研修が可能となっています。実際に、島根大学の後期研修医が本学神経内科で神経生理を重点的に研修したり、本学麻酔科の後期研修医が島根大学にて神経ブロックの研修を行ったりなど、それぞれの得意分野での相互的な補完が数多く実現しております。また、3大学は(社会人)大学院を有し、後期研修の

過程で見出した課題を研究に昇華・発展させる道も開いており、専門医に加え学位取得も可能です。



取組責任者
医学部附属病院長
宮坂 信之 教授

戦略的創造研究推進事業チーム型研究(クレスト)

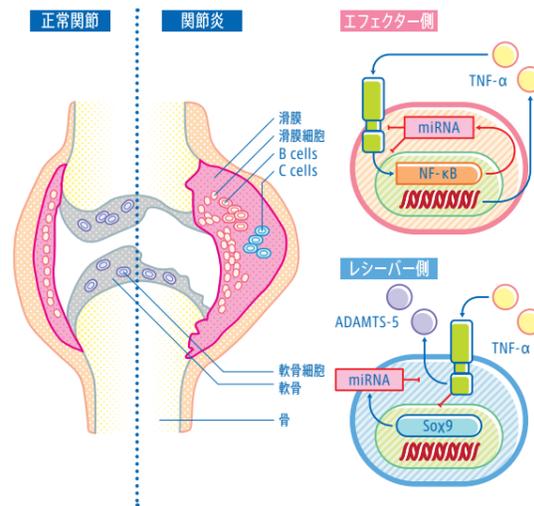
Strategic Basic Research Programs (CREST)

戦略的創造研究推進事業チーム型研究(クレスト)は我が国の社会的・経済的ニーズの実現に向けた戦略目標に対して設定され、インパクトの大きなイノベーションシーズを創出するためのチーム型研究です。戦略創造事業のうち、全体の規模としては最大で、複数の山々がそびえ立つ八ヶ岳のように、1つの領域に強力な研究群団が並び立ち、国の政策実現に向け研究を推進します。

RNA階層における炎症の時間軸制御機構の解明

研究代表者
大学院医歯学総合研究科
浅原 弘嗣 教授

慢性炎症は、私たちの健康を脅かす多くの病気に関わりますが、そのメカニズムは未だよくわかっていません。本研究では、代表的な慢性炎症の一つである関節リウマチをモデルに、マイクロRNAというタンパクにならずに役割を果たす新しい分子群に注目し、新規の高速RNA解析装置の開発や次世代シーケンサーの導入を通して、今まで不明であったRNAレベルでの炎症の終息もしくは遷延化機構を明らかにします。これによって、関節リウマチをはじめとした炎症疾患治療および診断に貢献することを目指します。



国家基幹研究開発推進事業 『再生医療の実現化プロジェクト 再生医療の実現化ハイウェイ』

The Project for Realization of Regenerative Medicine

「再生医療の実現化プロジェクト」は国が直接実施する必要のある研究開発活動についての事業 「国家基幹研究開発推進事業」のひとつで、細胞移植・組織移植によってこれまでの医療を根本的に変革する可能性を有する再生医療について、必要な幹細胞利用技術等を世界に先駆けて確立し、その実用化を目指すものです。

滑膜幹細胞による膝半月板再生

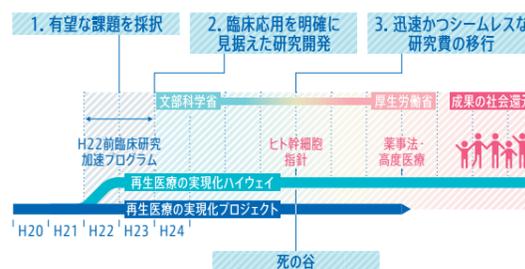
代表研究者
大学院医歯学総合研究科
関矢 一郎 教授

本事業は、再生医療のいち早い実現化のため、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が連続的に支援を実施することが可能な仕組みを構築し、長期間(10~15年間)、研究開発を支援・橋渡しすることを目指すものです。本学は体性幹細胞を用いた研究を想定し、1~3年目までに臨床研究に到達することを目指す課題Aに採択されています。

膝関節の緩衝機能を有する半月板は再生能力が低いため、損傷・変性後に半月板機能を再獲得することは容易ではなく、変形性膝関節症の要因となります。本事業は

- 1. 半月板縫合術後に自己滑膜間葉系幹細胞を関節内に注入することにより縫合術の治療成績を向上させる
- 2. すでに半月板が欠損した膝の関節内に自己滑膜間葉系幹細胞を注入することにより半月板を再生させる

2つの臨床研究を行ないます。同時に本治療方法の安全性を確立するとともに、有効性を基礎的に明らかにすることを目指します。



科学技術振興機構(JST)戦略的国際科学技術協力推進事業(日本—スウェーデン研究交流)

Strategic International Cooperative Program

本事業は、国際科学技術協力の戦略的展開に資するため、先進国、開発途上国等との共同研究等を推進し、科学技術外交の強化に貢献し、科学技術に関する情報の積極的な海外発信、諸外国の情報の収集、外国人研究者の受入環境の整備等、国際科学技術協力を推進するための基盤強化を行うことを目的としています。

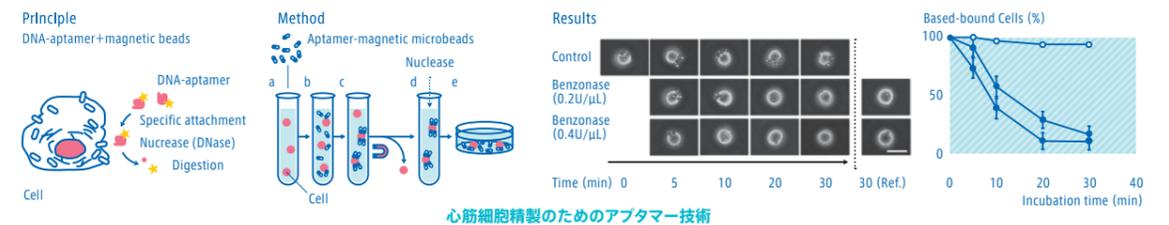
ヒト心毒性検査のためのヒト細胞ネットワークプラットフォームの開発と評価

研究代表者
生体材料工学研究所
安田 賢二 教授

日本とスウェーデンの最先端技術の二国間研究協力において、本学は再生医療にも利用できる核酸アプタマー*を用いた非侵襲細胞精製技術を提供し、スウェーデン側は世界最大規模のヒト幹細胞(ES)ライブラリーを用いた多様なヒト心筋細胞の開発技術を提供します。両者の先端技術を融合して、ヘテロな分化細胞の集団から特定の標的ヒト分化細胞を非侵襲に分離回収する基盤技術を世界に先駆けて確立する

ことを目指しています。既存の技術では不可能であった非侵襲細胞利用技術の実現で、臓器モデルバイオチップ等の創薬支援技術や、より安全な再生医療の実現が期待されます。

*核酸アプタマー：核酸鎖が作る立体構造に寄って抗体と同様な抗原への結合能を獲得した分子マーカー



地球規模課題対応 国際科学技術協力事業

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

本事業は、開発途上国のニーズを基に、地球規模課題を対象とし、将来的な社会実装の構想を有する国際共同研究を政府開発援助(ODA)と連携して推進し、地球規模課題の解決および科学技術水準の向上につながる新たな知見を獲得することを目的としています。

開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究 ガーナ由来薬用植物による抗ウイルス及び抗寄生虫活性候補物質の研究

取組責任者
大学院医歯学総合研究科
山岡 昇司 教授

本学はこれまで、野口英世博士を記念して設立された西アフリカのガーナにある野口記念医学研究所に特任教授・准教授を派遣して研究拠点を設立、ウイルス学、寄生虫病学の研究を進めてきました。平成21年度からは、科学技術振興機構(JST)と国際協力機構(JICA)による地球規模課題対応国際科学技術協力事業として、ウイルス複製、寄生虫増殖を抑制する薬用植物中の有効成分の研究を開始しました。この研究事業はガーナ側からの強い要請にもとづいて企画され、日本側から本学ウイルス制御学、国際寄生虫病学の太田伸生教授、免疫治療学の神奈木真理教授と長崎国際大学薬学部の正山征洋教授の各グループが参加し、ガーナ側の野口記念医学研究所と生薬科学研究センターの研究グループと感染症治療に有効な生薬有効成分について共同研究を行います。



野口記念医学研究所での協議風景

日中韓フォーサイト事業

A3 Foresight Program

本事業は、我が国と中国・韓国の研究機関が連携して、世界トップレベルの学術研究、地域共通の課題解決に資する研究及び若手研究者の育成を行うことにより、3カ国を中核としてアジアに世界的水準の研究拠点を構築することを目的としています。

胃がん発症における エピジェネティック変化の関与

研究代表者
大学院医歯学総合研究科
湯浅 保仁 教授

中国側研究代表者
北京大学腫瘍学院
Deng Dajun 教授

韓国側研究代表者
ソウル国立大学医学部
Kim Woo Ho 教授

胃がんは日本・中国・韓国において頻度の高いがんであり、胃のがん化過程には、エピジェネティックな変化（遺伝子そのものには変化は無いが発現が変化）が重要である。

3カ国の当事業に参加する胃がん研究者が所属する各施設は、研究拠点として既に世界的レベルにある。これらが、交流・共同研究を行うことで、3カ国の多数の胃がん症例におけるエピジェネティックな変化を徹底的に解析して、共通点・違いを明らかにする。疫学的にも3カ国の胃がんの相違点を解析する。

これらの共同研究により、胃がんの新たな早期診断、予防、治療法を開発することを目標とする。

以上により、研究拠点としてもさらにレベルをあげることを目指す。



左から湯浅・Kim・Dengの各代表

イノベーションシステム整備事業 (大学等産学官連携自立化促進プログラム)

Project for Developing Innovation Systems
(Program for Promoting Self-Sustaining Management of Industry-Academia-Government Collaboration in Universities)

本事業は、国際的な産学官連携体制の強化や国公立大学間連携等による地域の多様な知的財産活動体制の構築など、大学等の活動としては実施のリスクが高く、かつ、国として政策的観点から積極的に促進すべき活動を重点的に支援し、産学官連携活動全体の質の向上を図ることを目的とした事業です。

国際的な産学官連携活動の推進

取組責任者
研究・産学連携推進機構
産学連携推進本部
飯田 香緒里 准教授

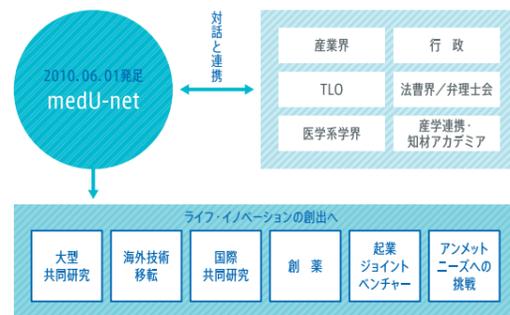
本学の産学官連携支援体制は、2011年4月に設立された研究・産学連携推進機構の下、産学連携推進本部（旧知的財産本部：廃止）・産学連携研究センターが中心となり、産学官連携研究活動及び研究成果の権利化・活用の支援を行っている。

本事業を通じた活動としては、医学研究及び研究成果の活用を通じて医療イノベーションを創出し医療社会の発展医療福祉に貢献するための、国際的な産学官連携活動支援基盤の拡充に取り組んでいる。

特に、新成長戦略で掲げられるライフイノベーションによる健康大国の実現に向け、ネットワーク力を用いた政策提言と、効率的かつ効果的な産学連携支援体制確立に取り組む、医学系大学産学連携ネットワーク協議会（medU-net）の運営に注力している。

また、医学研究利益相反（COI）マネジメントに関する研究

班を設置し、透明性高く健全な産学連携環境の整備に取り組む、わが国医療系アカデミア全体の産学連携力強化を目標とする。



内閣府（日本学術振興会）

Cabinet Office, Government of Japan
Funding Program for Next Generation World-Leading Researchers (NEXT Program)

[最先端・次世代研究開発支援プログラム]

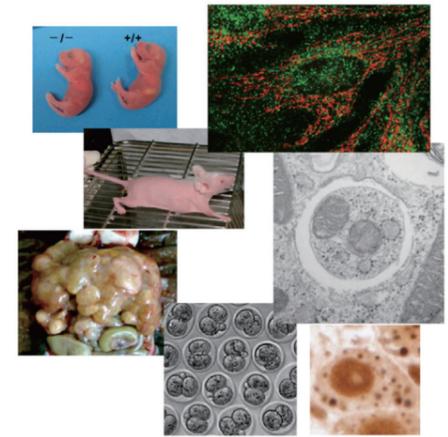
本プログラムは、将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者に対する研究支援制度であり、「新成長戦略（基本方針）」（2009年12月30日閣議決定）において掲げられた政策的・社会的意義が特に高い先端的研究開発を支援することにより、中長期的な我が国の科学・技術の発展を図るとともに、我が国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することを目的とします。

オートファジーの分子機構と生理機能に関する 分野横断型研究

取組責任者
大学院医歯学総合研究科
水島 昇 教授

私たちの体の構成成分は、合成される一方で常に分解されています。このようなリサイクルによって、生体や細胞は新鮮で健康な状態を保ち、内外のさまざまな変化に柔軟に対応しています。本研究では、細胞内大規模分解システムであるオートファジー（自食作用）の研究を通じて、細胞内の自

己タンパク質や小器官を分解することの生物学的な意義を明らかにし、さらにオートファジーを制御している分子群の役割を明らかにすることを目指しています。オートファジーという視点に基づいた分野横断型研究を推進することで、融合的新概念が創出されることが期待されます。

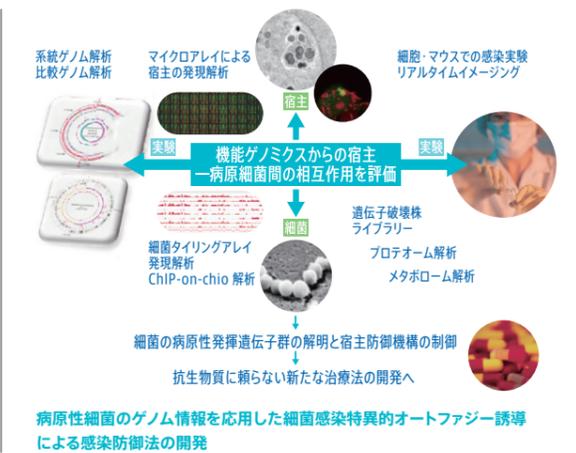


病原性細菌のゲノム情報を応用した細菌感染特異的 オートファジー誘導による感染防御法の開発

取組責任者
大学院医歯学総合研究科
中川 一路 教授

近年、地球環境や社会生活の変化により、未知の感染症や抗生物質が効かない新型耐性菌の出現など新たな感染症の脅威が拡大しています。このような感染症の予防・治療は、従来の方策では対応できません。本研究では、生体内で病原性を発揮するのに必要な「遺伝子群」を明らかにすること、それに応じて反応する宿主の細菌を排除する機構を人為的に制御可能にすることを目標としています。

細菌は常に病原性を発揮しているわけではなく、生体内の環境を感知してその威力を発揮しています。この研究では、生命の設計図であるゲノム情報を用いて、細菌の病原性を発揮する機構を明らかにし、また生体内で菌という異物を認識して排除するシステムを効率的に制御可能にすることに特色があります。



内閣府（日本学術振興会）
[最先端・次世代研究開発支援プログラム]

Cabinet Office, Government of Japan
Funding Program for Next Generation World-Leading Researchers (NEXT Program)

看護卒後教育によるmid-level provider育成と医療提供イノベーション

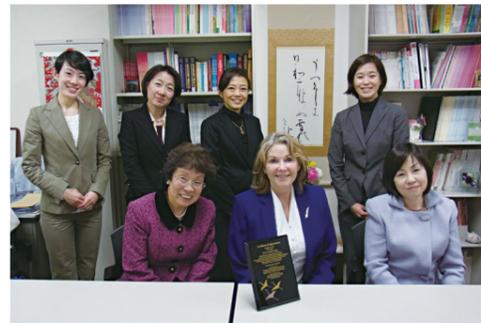
取組責任者
大学院保健衛生学研究科
井上 智子 教授

生活習慣病の増加や医師不足・偏在など、我が国の医療を取り巻く状況は、早急な問題解決が迫られています。mid-level provider とは、医師から独立して活動できる各種の医療専門職で、海外では看護師への大学院教育によるadvanced practice nurse (APN: 高度実践看護師)、nurse practitioner (NP) など、多くの職種が活躍しています。本課題では、我が国での高度実践看護職育成と新たな医療システム提言に向けて、関係諸機関とも継続的な検討を重ね、我が国に適したmidlevel provider (高度実践看護師)の役割・機能を明確にする

ともに、その移行教育を実施します。すなわち現在活躍している大学院修了による専門看護師に対し、海外協力大学との提携によるon lineによる講義と、Train-the-Trainers Approach法による少人数演習とを組み合わせた教育を実施し、新たなチーム医療のあり方の追求と産業創出に向けた提言を目指します。



シミュレーション教材の製作風景



シンポジウム講師Cosby先生とクロース先生を囲んで

組織幹細胞に着目した毛包の組織老化メカニズムの解明

事業推進責任者
難治疾患研究所
西村 栄美 教授

高齢化社会を迎え、加齢に伴って増加する癌やその他の多くの疾患の治療および予防が大きな課題となっています。しかし、発症に至るまでの長い期間に潜在的に進行する組織や臓器の加齢変化については理解が遅れており、疾患発症への関与についてその詳細は明らかにされていません。そのような背景において、我々は、毛の色素をつくる細胞である色素細胞の供給源となる細胞として“色素幹細胞”をはじめて毛根内に同定し、次いで加齢に伴ってこの細胞が自己複製できなくなり枯渇することで白髪という典型的な老化形質を発現するようになることを明らかにしてきました。マウス毛包の幹細胞システムは、ヒトのそれとよく似ており、幹細胞やその周囲の微小環境の研究におい

て格好のシステムであり、組織の老化や癌の研究においても有効です。そこで、毛包という皮膚の小器官をモデルとしてとりあげ、組織幹細胞やその微小環境の加齢変化の解析を中心にアプローチし、加齢に抗して幹細胞を維持する仕組み、および組織の老化と癌の発生に至る仕組みを解明することを目指します。将来的には加齢に伴って罹患しやすくなる難治性疾患の予防や治療へと役立つことを目指しています。



放射線照射によるマウス体毛の白毛化



加齢によるマウス体毛および髪の白毛化と脱毛

特別経費

Special Funds

特別経費は新たな教育研究ニーズに対応し各国立大学等の個性や特色に応じた意欲的な取組み等への支援を目的とします。

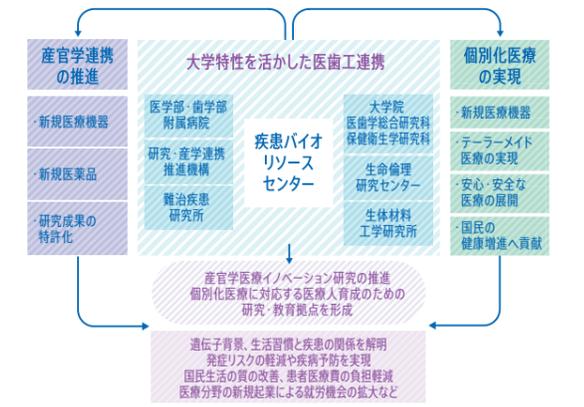
疾患バイオリソースセンター設置による産学官イノベーション推進研究拠点の形成

事業推進担当者
疾患バイオリソースセンター長
稲澤 譲治 教授

平成24年度より、文科省特別経費「大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実」に係るプロジェクトに関連して、東京医科歯科大学 疾患バイオリソースセンターが設置されました。

本学の医学部・歯学部附属病院で扱うがん・生活習慣病や難治性疾患のバイオリソースと臨床情報を個人情報保護と倫理的配慮のもとに収集・保管して、産学官連携の医療イノベーション研究資源として安全に活用するための施設として機能します。併せて、急速に進展するゲノム情報に基づく個別化医療に適切に対応できる医師、歯科医師、コメディカル、学生、研究者の教育や研究環境を整備し、我が国の医療イノベーション推進の拠点としての役割を果たすものです。本学附属病院では既に臨床情報一元管理のインフラは整備されており、生命倫理研究センター、研究・産学連携推進機構などと緊密な連携を図り、さらに生体材料工学研究所のバイオ

リソーステクノロジー開発や難治疾患研究所の疾患ゲノム解析の研究力を併せて、部局横断的に高品質な疾患バイオリソースバンクの構築を目指しています。

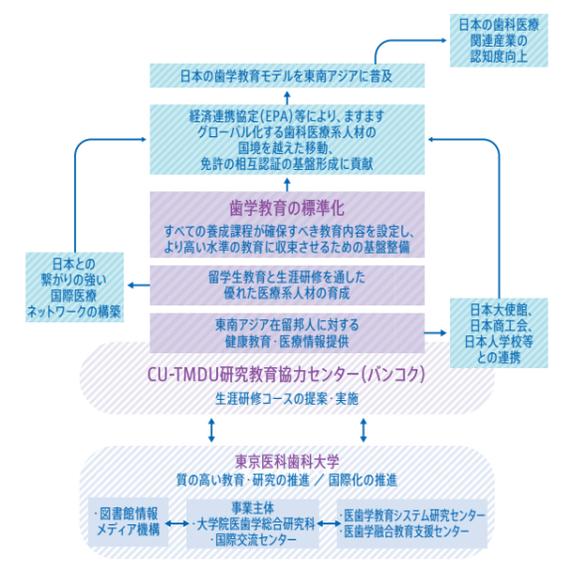


東南アジアにおける医歯学教育研究拠点推進事業 歯学教育の標準化を目指して

事業推進担当者
大学院医歯学総合研究科長
田上 順次 教授

本学歯学部・大学院医歯学総合研究科は、タイとの間で平成8年～17年の10年間にわたる拠点大学交流(歯学)事業を実施するなど、共同事業に取り組むとともに、これまで多くの留学生をタイから受入れてきました。平成21年11月に締結されたチュラロンコン大学長と本学学長による合意書に基づき、チュラロンコン大学—東京医科歯科大学研究教育協力センターを、平成22年11月にチュラロンコン大学歯学部内に設置しました。同センターが中心となって、本事業の4つの取組を推進します。

- 1. 東南アジアにおける歯学教育の標準化に向けたガイドラインの策定等
- 2. 東南アジア歯科医療従事者等に対する生涯研修コースの提案・実施
- 3. 東南アジアからの留学希望者に対する留学情報提供
- 4. 東南アジア在留邦人や日本人学校に対する健康教育や医療情報の提供



特別経費

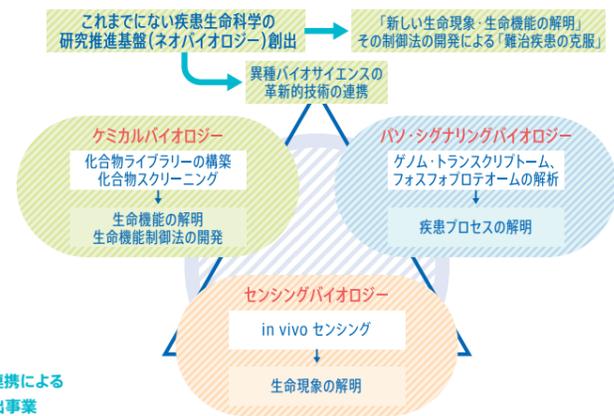
Special Funds

異種バイオサイエンス技術の連携による
ネオバイオロジー推進基盤創出事業

取組責任者
難治疾患研究所
三木 義男 教授

多様な生命機能を解明し、その制御による疾患の新規治療法開発のためには、「生体分子」、「細胞」から「個体」に至る幅広い視点で革新的技術により生命科学を追究することが必要です。そこで、これまで各々独自で構築を進めてきた異なる3種のバイオサイエンス基盤技術(パソ・シグナリングバイオロジー、ケミカルバイオロジー、センシングバイオロジー)を連携・融合させ、新たな生命科学領域(ネオバイオロジー)研究の推進基盤を創出するとともに、それらを駆使することによって生命機能の解明とその制御法の開発を目指す新たな「ネオバイオロジー

推進プロジェクト」がスタートいたします。生命体のシグナル異常の解析を基軸に難治病態の解明を目指すパソ・シグナリングバイオロジー、有用化合物を同定しその化合物を利用して生命機能の解明や生命機能制御法の開発を行うケミカルバイオロジー、総合的なin vivoセンシング技術を結集・組織化し、生命現象や難治疾患、健康科学に貢献するセンシングバイオロジーを連携、融合的に発展させ、世界のニーズにこたえるためこれまでにないネオバイオロジーを創製し、生命現象の解明や難治疾患研究への応用を目指します。

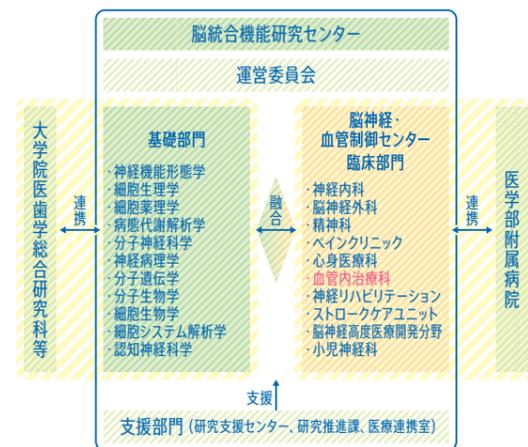


異種バイオサイエンス技術の連携による
ネオバイオロジー推進基盤創出事業

脳神経・血管制御センターの整備

取組責任者
脳統合機能研究センター長
水澤 英洋 教授

本学は、脳科学・脳神経疾患領域において、先端を拓く伝統があり、21世紀COEプログラム「脳の機能統合とその失調」の成功を経て「脳統合機能研究センター (Center for Brain Integration Research: CBIR)」を設立、2009年にはその臨床部門としての「脳神経・血管制御センター」が発足した。CBIRは、世界の脳神経疾患克服のニーズに応えるため、本学における脳神経科学の基盤と新たな戦略を融合的に発展させた、脳・神経・脊髄・精神疾患の高度先進医療の研究・教育を実践する拠点であり、脳神経血管制御センターはその中核を担うこととなる。



脳科学研究戦略推進プログラム 課題E
「心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子」

Field E "Understanding of Molecular and Environmental Bases for Brain Health"

高齢化、多様化、複雑化が進む現代社会が直面する様々な課題の克服に向けて、脳科学に対する社会からの期待が高まっている。このような状況を踏まえ、『社会に貢献する脳科学』の実現を目指し、社会への応用を明確に見据えた脳科学研究を戦略的に推進するため、脳科学委員会における議論を踏まえ、重点的に推進すべき政策課題を設定し、その課題解決に向けて、研究開発拠点等を整備する。特に、課題Eでは心身の健康を維持する脳の分子基盤と環境因子をテーマとして取り組む。

生涯に亘って心身の健康を支える脳の分子基盤、
環境因子、その失調の解明

拠点長
大学院医歯学総合研究科
水澤 英洋 教授

少子高齢化社会を迎える我が国にとって、経済的・社会的活力を維持するためには、小児期・成人期・老年期に亘り、脳が健全に機能することが必要である。本研究では、以下の3つの班を構成し、脳の健康を脅かす外的要因である環境因子と内的要因である脳の健康維持の分子基盤の相互作用を体系的に解明し、生涯に亘る脳の健康維持機構への戦略を探る。

もたらすか包括的な解析を行う。

「活力ある暮らし」班

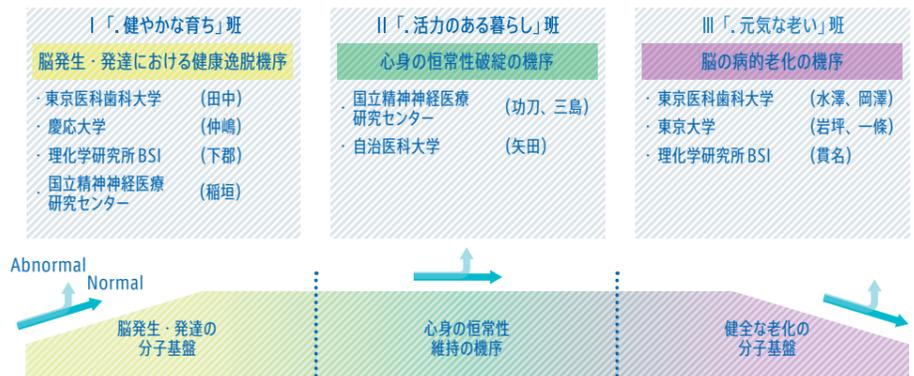
うつ病、睡眠障害、摂食障害などの発症に関わる分子基盤を検索すると共に、夜型社会などの環境ストレスが、心身の恒常性を破綻させる機構についても分子レベルで解明する。

「元氣な老い」班

大・小脳の正常加齢とアルツハイマー病や脊髄小脳失調症など病的状態において、遺伝的背景と環境要因の関与を解明する。特に生活習慣病がこれらの神経変性疾患に及ぼす影響をきちんと評価する。

「健やかな育ち」班

発達障害などと関連する大脳新皮質・海馬・扁桃体・視床・視床下部の形成機序を解明し、モデルマウスを作製して、その表現型、分子病態、環境要因の影響などを解析することにより、各脳部位の形成障害がどのような脳高次機能の異常を



特色ある教育・研究一覧

Other Current Projects

[戦略的創造研究事業 JST (CREST)]

新たなアレルギー発症機構の解明とその制御

研究代表者
大学院医歯学総合研究科 鳥山 一 教授 (21)・(27)年度

シナプス-グリア-D-セリン系の分子機構解明と統合失調症における病態解析および修復法創出

研究代表者
大学院医歯学総合研究科 西川 徹 教授 (21)・(27)年度

プルキンエ細胞変性の分子病態に基づく診断・治療の開発

研究代表者
大学院医歯学総合研究科 水澤 英洋 教授 (21)・(27)年度

2009年4月1日、本学ではこれまでの「留学生センター」を改組し、新たに「国際交流センター」をスタートさせました。これまで、多くの学術・学生交流協定が締結されてきましたが、それらは各部署単位で実施されていたためトータルな情報把握が十分ではない点もあり、本学の国際交流を一括して管理することを始めました。

本学へ理解があり、母国の医療界で活躍している留学生との繋がりは、本学にとって貴重な財産です。しかし、残念ながら帰国留学生との連絡が途絶えているケースがあります。そこで今後は、留学生に関するデータを一括管理し、彼らとの交流を継続させることによって、本学の国際化推進のサポーターと位置づけ彼らから本学の教育研究における課題を学び、教育研究のさらなる向上を図ります。

また、これからは留学生が来るのを待つだけではなく、世界中から優秀な人材を積極的に獲得することも必要です。そのために新たな試みとして、2009年より国際サマープログラムを開催しています。留学前に十分な情報を与えられ留学してきた学生は満足度も高いため、事前の情報提供や適切な受入分野への橋渡しを行っております。同時に、留学中の相談サービス、留学後のフォローとさらに一貫した支援システムの構築をすすめています。2010年12月には1号館西4Fに移転し、新たな挑戦をする「国際交流センター」に学内外から大きな期待が寄せられています。

ガーナ・野口記念医学研究所 共同研究センター

Ghana-Tokyo Medical and Dental University
Research Collaboration Program

次世代の野口英世たちを育成する場として

本学とガーナ大学野口記念医学研究所との共同研究は、2008年から開始され5年目を迎えています。この間、研究環境整備を図って共同研究を進めた他、相互交流を核とした人材育成の推進など、本学の国際教育活動の中核の一つに位置づけられるようになりました。現在は、ウイルス学と寄生虫学の教員2名を野口研に派遣しています。ウイルス学研究では、HIVを取り上げ、WHOが主導する治療薬の評価や薬剤耐性出現をモニターする他に、HIVの分子進化機構をアフリカ大陸内のHIV株間比較を通じて研究しています。寄生虫学ではアフリカトリパノソーマ症の新規治療薬標的の解析、西アフリカ地域の寄生虫病疫学データベースの構築などに取り組んでいます。また、2011年度からは野口研で蚊を飼育するための施設が再建されたことからハマダラカの遺伝子変異の研究を研究計画に加えしました。

若手研究者や学生の相互交流は共同研究の重要な位置づけとなっています。2011年には6名の医学科4年生が野口研に派遣され、医学部の履修課程である「プロジェクトセメスター」の活動の一環として研究を行いました。野口研からは、神戸で開催されたアジア・アフリカリサーチフォーラム参加のため、2名の若手研究者を招聘した後、神戸から本学に移動して本学に滞在し、研究手技の移転を行い、共同研究事業の強化を図りました。



東京医科歯科大学・ガーナ大学 野口研共同研究センター



2011年度医学科派遣学生（在ガーナ日本大使館にて）



ガーナ大学Aryeetey学長来訪（学教室にて）

チリ国における ラテンアメリカ共同研究拠点の形成

Latin American Collaborative Research Center (LACRC),
Santiago, Chile

大腸癌の早期発見・治療を目指すチリ国家プロジェクトへの参画

大腸癌死亡率の急激な増加に悩むチリ国の国家的問題に取り組むクリニカ・ラス・コンデス（チリ国病院）と、大腸癌に関する臨床・科学・学術協力で協力体制を構築するため協議し、2009年7月15日チリ国保健省並びにクリニカ・ラス・コンデスと協定を締結しました。

さらに、中南米地域において広く教育・研究・国際貢献を展開する目的で2010年4月、チリに研究拠点を開設しました。

当該研究拠点での活動の第一の目的は、チリ国及び中南米諸国における大腸癌死亡率低下にあります。本学は15年間にわたり中南米諸国に「大腸癌早期発見と診断・治療」の普及に努めた経験があり、チリ国最先端病院であるクリニカ・ラス・コンデスが今後五カ年で計画している集団検診プログラム「早期大腸癌診断と治療」に対する指導・教育・研

究に協力します。第二の目的は、集団検診を通じて得た研究試料及び新たな研究課題等について、早期癌病理組織診断等の臨床研究から、遺伝子解析といった基礎医学研究をも含めた横断的な研究を行い、癌研究の更なる発展を目指しています。



協定書に調印する大山喬史学長(左)、Sr. Alfredo Schonherr [CLCのCEO](中央)、Dr. Julio Montt Vidal, Ministry of Health, Undersecretary of Health Care Networks [チリ国保健省ヘルスケアネットワーク課次官](右)

チュラロンコーン大学

— 東京医科歯科大学研究教育協力センター

CU-TMDU Research and Education Collaboration Center

タイ王国シリントン王女が大山喬史学長に名誉博士の学位を授与

本学とチュラロンコーン大学(CU)は、1991年に歯学部間の学術交流協定締結後、さまざまなプロジェクトが活発に実施されるようになりました。2009年には医学部間においても学術交流協定が締結され、2010年にはCU-TMDU研究教育協力センターがチュラロンコーン大学内に設置されました。

また、大同学長は長年にわたりボランティアとしてタイ北部の無歯科医地区の巡回診療に参加し、タイ国民の歯科保健の向上に貢献してきました。このような公私にわたる国際

貢献の業績が高く評価され、2011年7月7日、CUにおいて授与式が盛大に執り行われ、シリントン王女より大同学長に名誉博士の学位が授与されました。

2011年には、CU-TMDU研究教育協力センターに新しくテレビ会議システムが導入され、テレビ中継を通して本学と情報交換を行うことが可能となりました。今後、両大学間でさまざまな医歯学領域の教育研究事業が活発に実施されることが期待されています。



シリントン王女から名誉博士の学位を授与される大同学長



世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成 パートナーズ・インターナショナル・ メディカル・サービスとの医学教育提携

Tokyo Medical and Dental University and
Partners International Medical Service, Inc.
Alliance for Medical Education

本学では、平成14年度にHMI（ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成20年からPHMI / パートナーズ・ハーバード・メディカル・インターナショナル、平成24年にPIMS / パートナーズ・インターナショナル・メディカル・サービスに名称変更）との医学教育提携契約を締結しました。この提携は、世界トップレベルの医師、歯科医師、コ・メディカル・スタッフを育成するとともに、世界をリードする医学・歯学研究者を養成することを目標としています。

現在、世界最先端の医学教育方法の研究及び研修のために、ハーバード大学教員を本学へ招聘するばかりでなく、多数の本学教員をハーバード大学に派遣し、教育研修を実施し、着実に成果を上げています。

また、この教育連携の大きな特色としては、本学医学部医学科の正規のカリキュラムとして、「ハーバード大学の学生と共に学ぶ臨床実習」が選択コースとして設定されており、年々充実を図り、過去9年間で64名の学生が参加し、大きな成果を上げています。

更には、本提携の高い評価により、平成17年度には、特別教育研究経費「国際性豊かな医療人・世界的競争に打ち勝つことのできる研究者の養成」が措置され、カリキュラム改革等の推進に積極的に取り組んでいます。

また、本年度、PIMSとの教育提携が10周年を迎えました。本提携は広範囲におよび、学生派遣（6年次3ヶ月の臨床実習、

平成24年度8名予定）のほか、下記のような活動を行っています。

1. テレビ会議

（カリキュラム改革案についてテレビ会議システムを利用して米国PIMSと協議を継続し、その実施経過を逐次検討）、

2. 教育リーダー派遣調査および協議

〔医学部95名、歯学部23名、教養部3名、期間5～10日間（平成14年度～平成23年度実績）〕

および

3. HMS教員を招聘した教員研修会

（全学規模で平成12年より5回、医学科のみ平成13年より12回延べ1,176人参加）が実施されています。

このような多段階、多様な提携の結果、本学のカリキュラムは様変わりし、最終段階として臨床クラークシップの改革が今始まっています。この改革には、ハーバードに派遣された教員のみならず学生、その後本学の研修医となっている卒業生の意見を反映させながら、英米では長い歴史を持つもののわが国では形式に止まっている診療チームの一翼を担う臨床実習の「真の実現」を目指し準備が進められています。

世界トップレベルの医師を育成するために インペリアルカレッジとの 交換留学プログラム

Student exchange programme between Faculty of Medicine,
Graduate School, Tokyo Medical and Dental University and
Faculty of Medicine, Imperial College of Science Technology and Medicine

本学では、平成16年度にインペリアルカレッジとの交換留学プログラムを開始しました。本プログラムは、交換留学協定に基づく留学のため、単位は互換であり、双方の授業料は免除され、宿泊施設も提供されます。学生は留学生活においてインペリアルの学生や教員、研究者からきめ細やかなサポートを受けることができます。本プログラムを開始してから7年余りになりますが、貴重な体験が得られるという評価が定着し、双方の大学において人気プログラムとなっています。

インペリアルカレッジはロンドンのサウスケンジントンにある大学です。1907年に創設の医学部、工学部、生命科学部、物理学部の4学部で構成されており、これに加えてビジネススクールも併設されています。英国内での大学ランキングでは3位（時に2位あるいは4位のこともある）、全世界でもトップ10の常連に位置する非常に優秀な大学です。

【留学状況】

1. 本学からインペリアルカレッジへの留学

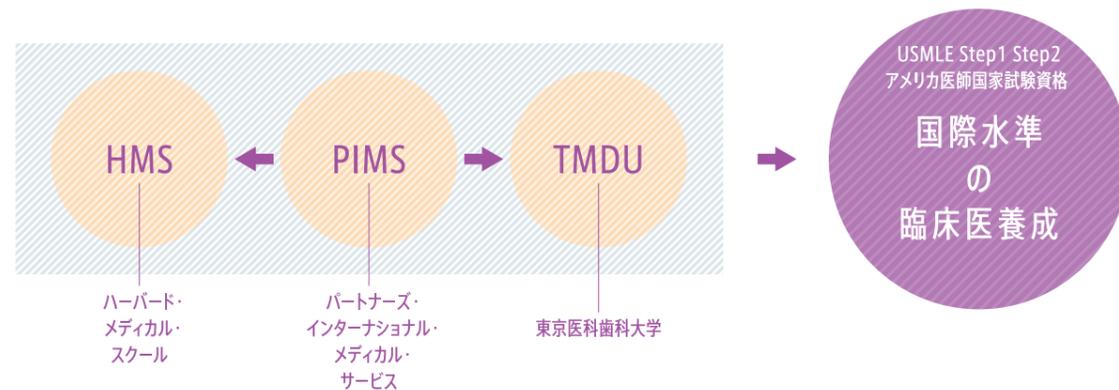
医学科4年生のプロジェクトセメスターの期間（10月～2月末）、毎年4名程度延べ28名が留学しています。具体的には、インペリアルカレッジから本学学生のために用意された12～24程度の研究課題の中から興味のある課題を選択し、指導教員の下、実際の医学研究に従事します。平成24

年度に関しては過去の希望を活かし関連病院を見学する機会が予定されています。リサーチの基本的な考え方、必要な情報の集め方、論理的・科学的思考など学問に対するアプローチが修得できること、そして異なるバックグラウンドを持つ指導教員や研究室のメンバーとの関係の構築、および英語による筋道だった議論・論述能力の養成、他にも英国ならではの文化に触れ、世界中の勤勉な学生と関わり刺激を受けるなど日本にはなかなか得られない経験ができるまたとない機会となっています。

2. インペリアルカレッジから本学への留学

インペリアルカレッジではカリキュラムの一環として3ヶ月間の研究期間が設けられており、その研究プロジェクトの1つに本交換留学プログラムもあります。実績としてはBScコースの一環として医学部4年生が2月中旬より3ヶ月に渡り、毎年4名程度、延べ31名を受け入れています。インペリアルの学生も本学の医歯学総合研究科の約20分野が各々1～3課題ずつ提供する研究課題の中から興味のある課題を選択して医学研究に従事することになります。インペリアルの学生にとっては本プロジェクト内において研究活動の技術を学ぶだけでなく、お花見や古都巡り等様々な日本文化に囲まれた非常に充実した体験プログラムとして人気を集めています。

概念図



- ・患者・医師関係の教育の充実
- ・診療参加型実習の本格導入
- ・英語による医学教育の拡大
- ・米国における臨床実習

左上: 平成22年度受入学生
及び指導教員

左下: 大山学長と
平成22年度受入学生

右上: 平成22年度派遣学生

右下: 平成22年度派遣学生



本学を広く世界にアピールするとともに、
アジアの優秀な外国人留学生を確保する場として

国際サマープログラム

International Summer Program, ISP

本学を広く世界にアピールするとともに、優秀な若い人材を惹きつけることを目的として、平成21年度から「国際サマープログラム」(International Summer Program, ISP)を実施しています。第1回(平成21年9月6日～9日)は「癌研究の最先端」、第2回(平成22年9月5日～8日)は「感染と免疫」をテーマとして、海外からの招聘講師と本学でその年のテーマに関連する研究を牽引する研究者からなる講師陣による講義や国際シンポジウム、招聘者と本学大学院生によるポスター発表などを行ってきました。

第3回となるISP2011は「臓器/組織の発生と再生—基礎と臨床応用」をテーマとして、平成23年8月28日～31日に開催しました。3月の東日本大震災とその後の節電対策により、運営面での配慮が必要でしたが、難治疾患研究所、田賀哲也教授を座長としたISP2011ワーキンググループの各委員ならびに学内外の講師の先生方のご協力のもと、無事に実施することができました。

第1回の参加応募者は、アジア15カ国・地域から76名に上り、選考の結果11カ国・地域、35名を招聘し、第2回

ではアジア16カ国・地域の96名の応募者の中から選考の結果24名と、本学の海外研究拠点のあるガーナからの2名を加えた、計26名を14カ国・地域から招聘しました。第3回は14カ国・地域から23名を招聘して実施しました(下表参照)。

第1回、第2回の招聘参加者の中には、すでに本学の大学院博士課程に入学した方もいます。ISP2011では優秀な留学生獲得のために、将来の指導教員との面談を含めた研究室訪問の時間を豊富に取るなどの改善を加えました。夏季期間中にも関わらず学内の先生方には熱心に訪問学生に対応していただきました。また、希望する招聘学生を対象に大学院特別選抜入試を実施し、3名が合格しました。

第4回となるISP2012は、「脳と心—神経科学の最先端」をテーマに平成24年8月26日～29日に開催予定であり、大学院医歯学総合研究科、水澤英洋教授を座長とし、さらに招聘参加者と本学教員・学生とのより密度の高い相互交流が可能となるプログラムを目指しています。また、8月30日には大学院博士課程ISP特別選抜入試を予定しています。

ISP2011 国別招聘者数

国・地域	応募者			招聘者		
	男	女	総計	男	女	総計
ベトナム	1	4	5	2	2	2
中国	4	20	24	1	4	5
バングラデシュ	3	2	5	1	1	1
タイ	2	3	5	1	1	1
ネパール	3	1	4	1	1	1
マレーシア	2	2	4	1	1	1
スリランカ		2	2	1	1	1
インド		3	3	1	1	1
モンゴル	1	2	3	1	1	2
タジキスタン	1		1			0
韓国		1	1	1	1	1
カンボジア		3	3	2	2	2
パキスタン	1		1	1	1	1
香港	1		1			0
ミャンマー	2	2	4	1	1	2
インドネシア	1	2	3	1	1	2
合計	22	47	69	6	17	23



交流会での集合写真
(M&Dタワー 26階ファカルティラウンジ、平成23年8月30日)

ISP2009	応募者: 15カ国・地域	76名	招聘者: 11カ国・地域	35名
ISP2010	応募者: 16カ国・地域	96名	招聘者: 14カ国・地域	26名

海外研修奨励制度

豊かな感性と国際性を持つ人材の育成に役立てるために、心身共に健全にして学業優秀と認められるとともに、海外研修に意欲を有する学部学生を対象として、海外研修の機会を提供する制度です。この制度は平成14年から始まり、これまで54名(平成23年度は9名)の学生がこの制度にて海外へ留学しています。

平成23年度 東京医科歯科大学 海外研修奨励制度 実績

所属	派遣先	人数
医学部医学科 4学年	アメリカ合衆国 ・デューク大学 ・ウッズホール海洋生物学研究所 ・スクリプク研究所	3名
医学部 保健衛生学科 3学年	タイ ・マヒドン大学 フィンランド ・セイナヨキ応用科学大学	2名

所属	派遣先	人数
歯学部歯学科 6学年	オーストラリア ・メルボルン大学	
4学年	イギリス ・キングスカレッジロンドン歯学部 ・キングスカレッジロンドン	3名
歯学部 口腔保健学科 3学年	アメリカ合衆国 ・東ワシントン大学及び カルフォルニア大学 ロサンゼルス校	1名

大学院学生研究奨励賞

所属研究分野において優れた研究活動を行い、評価の高い成果を挙げ、将来研究者としての活躍が期待できる大学院生を対象として、世界をリードする研究者、研究心旺盛な高度専門医療人の育成に役立てることを目的として、その業績を顕彰するために平成23年に設けられました。奨励賞の被授与者には、海外研修の機会を提供しています。

平成23年度 東京医科歯科大学 大学院学生研究奨励賞 実績

所属	派遣先
大学院 医歯学総合 研究科	アメリカ合衆国 ・Massachusetts General Hospital アメリカ合衆国 ・Weis Center for Research Geisinger Clinic
大学院 保健衛生学 研究科	アメリカ合衆国 ・テキサス州立大学 MDアンダーソンがんセンター

自由選択学習(プロジェクトセメスター)を利用した海外留学

主な講義・試験及び基礎実習を終えた医学部医学科4年次後期の5ヶ月間において、興味を持った分野について集中的に学ぶことにより、科学的視点を有する医師としての基盤を養成することを目的としている研究コースであり、このコースでは、本学内の諸講座や他機関のほか、国際交流協定校のインベリアルカレッジ(英国)、クリニカ・ラスコンデス(チリ)、ガーナ大学野口記念医学研究所(ガーナ)、チュラロンコン大学(タイ)における海外研修の機会があります。

平成23年度 プロジェクトセメスター海外留学実績

インベリアルカレッジ (英国)		4名
チリ大学/クリニカ・ラス・コンデス (チリ共和国)		6名
チュラロンコン大学 (タイ王国)		2名
ガーナ大学野口記念医学研究所 (ガーナ共和国)		6名
他、アメリカ合衆国、 オーストラリア、大韓民国等		10名

パートナーズ・インターナショナル・メディカル・サービス との医学教育提携

アメリカ合衆国

- ・パートナーズ・インターナショナル・メディカル・サービス
- * 2012年PIMS/パートナーズ・インターナショナル・メディカル・サービスに名称変更

国際交流協定校 / 学部等協定

大学院医歯学総合研究科(医学系)・大学院保健衛生学研究科・医学部

フィンランド共和国

- ・セイナヨキ応用科学大学
- ・タンペレ大学看護学部

アメリカ合衆国

- ・ワシントン大学看護学部
- ・コロラド大学デンバー校看護学部

イギリス

- ・インペリアル・カレッジ医学部
- ・シェフィールド大学看護・助産学科

タイ王国

- ・チュラロンコン大学医学部

ガーナ共和国

- ・ガーナ大学野口記念医学研究所

台湾

- ・国立陽明大学

中華人民共和国

- ・天津医科大学

デンマーク王国

- ・コペンハーゲン大学大学院薬学研究科

チリ共和国

- ・チリ大学医学部
- ・クリニカ・ラス・コンデス病院とチリ国保健省

大学院医歯学総合研究科(歯学系)・歯学部

大韓民国

- ・ソウル大学歯科大学
- ・慶北大学校歯科大学
- ・全南大学校歯学部

タイ王国

- ・チュラロンコン大学歯学部
- ・マヒドン大学歯学部
- ・チェンマイ大学歯学部
- ・ソクラ王子大学歯学部
- ・コンケン大学歯学部
- ・ナレスワン大学歯学部
- ・シーナカリンウィロット大学歯学部

中華人民共和国

- ・吉林大学口腔医学院
- ・大連医科大学口腔医学院
- ・北京大学口腔医学院
- ・首都医科大学歯学部
- ・同済大学口腔医学院
- ・内蒙古医学院

台湾

- ・台北医学大学口腔医学院
- ・国立台湾大学医学部歯学科
- ・高雄医学大学口腔医学院

インドネシア共和国

- ・インドネシア大学歯学部

シンガポール共和国

- ・シンガポール大学歯学部

マレーシア

- ・マラヤ大学歯学部

デンマーク王国

- ・コペンハーゲン大学健康科学部歯学科

ミャンマー連邦

- ・ヤンゴン歯科大学

ベトナム社会主義共和国

- ・ハノイ歯科大学
- ・ホーチミン医科薬科大学歯学部

モンゴル国

- ・モンゴル健康科学大学歯学部

スリランカ民主社会主義共和国

- ・ペラデニヤ大学歯学部

カンボジア王国

- ・カンボジア健康科学大学歯学部

ラオス人民民主共和国

- ・ラオス国立大学医科学部歯学科

イギリス

- ・キングスカレッジロンドン歯学部

チェコ共和国

- ・マサリク大学医学部口腔科学科

アメリカ合衆国

- ・ペンシルベニア大学歯学部
- ・ハーバード大学歯学部
- ・ノースキャロライナ大学歯学部
- ・カリフォルニア大学サンフランシスコ校歯学部

カナダ

- ・マギル大学歯学部

オーストラリア

- ・メルボルン大学健康科学部歯学科

生体材料工学研究所

イギリス

- ・ストラスクライド大学バイオエンジニアリングユニット
- ・ロンドン大学クイーンメアリー・アンド・ウエストフィールド校生体医用材料総合研究センター

スウェーデン王国

- ・リンシェピン大学医用生体工学科

ポーランド共和国

- ・ポーランド科学アカデミーバイオサイバネティクス・生体工学研究所ならびにバイオサイバネティクス国際センター

大韓民国

- ・慶北大学校生体材料研究所

中華人民共和国

- ・北京大学口腔医学院

難治疾患研究所

シンガポール共和国

- ・国立シンガポール大学腫瘍研究所

大韓民国

- ・ソウル国立大学分子生物学・遺伝学研究所

大学院生命情報科学教育部・難治疾患研究所

ポーランド共和国

- ・グダニスク医科大学

ドイツ連邦共和国

- ・ドイツリウマチ疾患研究センター
- ・フンボルト大学
- ・ハイデルベルグ大学生命情報学部
- ・フライブルグ大学

イギリス

- ・ダンディー大学
- ・グラスゴー大学大学院生命医科学研究科

中華人民共和国

- ・北京協和医学院
- ・中国医科大学
- ・上海センター

ベトナム社会主義共和国

- ・ハノイ医科大学

外国人留学生在籍者数

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

国名・地域	大学院生			学部学生		専攻生・大学院研究生				日本語 研修生	小計		計									
	医歯学 総合研究科	保健衛生学 研究科	生命情報科学 教育部	医学部	歯学部	医学部	歯学部	生体材料工学 研究所	難治疾患 研究所	国際交流 センター	国費	私費										
韓国	3		1	1							1	4	5									
中国	6	51	8	5	3	3	4	2			14	68	82									
モンゴル	1	2	1				1			1	2	4	6									
フィリピン	3										3	0	3									
インドネシア	4										4	0	4									
シンガポール			1								1	0	1									
ヴェトナム	4		1								4	1	5									
カンボディア	3										3	0	3									
マレーシア	2		1								1	2	3									
タイ	17	2						1		1	18	3	21									
ミャンマー	1	5					1				1	6	7									
ネパール	3		1							1	1	4	5									
バングラデシュ	9	6									9	6	15									
インド	3	4									3	4	7									
スリランカ	2	1									2	1	3									
パキスタン			1								0	1	1									
イラン	1	1	1								2	1	3									
イラク	1										0	1	1									
ヨルダン	3										3	0	3									
サウジアラビア	5										0	5	5									
アフガニスタン	2										2	0	2									
イエメン	1										1	0	1									
台湾	5										0	5	5									
スロバキア	1										1	0	1									
ベラルーシ								1			1	0	1									
トルコ			1								1	0	1									
エジプト	2	1	1				1				2	3	5									
タンザニア	2										2	0	2									
ガーナ	1										1	0	1									
スーダン	1										1	0	1									
カナダ			1	1							1	1	2									
ブラジル	1										1	0	1									
パラグアイ	1										1	0	1									
ホンジュラス	1										1	0	1									
ベネズエラ	1										1	0	1									
ペルー								1			0	1	1									
小計	71	92	0	0	13	12	1	3	0	3	0	7	1	4	0	0	0	0	3	89	121	210
合計	84		104		1		6		1		11		3						210			
	188			7		12		3														

* 赤色は、私費留学者数を外数で示す。

職員数

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

	役員	教員				小計	その他職員				計	
		教授	准教授	講師	助教		一般職	業務系		看護師		小計
								放射線技師	検査技師等			
学長	1										1	
理事	5										5	
監事	2(1)										2(1)	
監査室						1				1	1	
事務局						141				141	141	
病院運営企画部						5				5	5	
大学院医歯学総合研究科(医系)		50	24	22	73	169	0	0	0	0	169	
大学院医歯学総合研究科(歯系)		34	27	22	84	167	0	0	0	0	167	
大学院保健衛生学研究科		16	7	2	14	39	0	0	0	0	39	
医学部		0	0	0	0	0	68	6	0	74	74	
医学部附属病院		1	8	34	103	146	0	125	713	838	984	
歯学部		5	1	3	2	11	27	2	0	29	40	
歯学部附属病院		0	4	14	20	38	0	57	56	113	151	
教養部		9	9	2	2	22	4	0	0	4	26	
生体材料工学研究所		11	7	2	17	37	6	0	0	6	43	
難治疾患研究所		19	24	2	18	63	11	0	0	11	74	
図書館情報メディア機構		1	0	0	1	2	17	0	0	17	19	
医歯学教育システム研究センター		2	1	1	0	4	0	0	0	0	4	
医歯学研究支援センター		1	2	1	2	6	2	0	0	2	8	
実験動物センター		1	0	0	2	3	0	0	0	0	3	
国際交流センター		0	5	0	0	5	5	0	0	5	10	
生命倫理研究センター		1	0	2	1	4	0	0	0	0	4	
医歯学融合教育支援センター		0	1	1	0	2	0	0	0	0	2	
保健管理センター		1	0	0	0	1	0	0	1	1	2	
研究・産学連携推進機構		0	1	0	0	1	13	0	0	13	14	
脳統合機能研究センター		0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	
総計	8(1)	152	123	108	339	722	300	190	770	1,260	1,990(1)	

*()内は非常勤役員を内数で示す。

学生数(大学院)

医歯学総合研究科

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

専攻	入学定員	収容定員	修士課程			博士課程				計										
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
医歯科学(一般コース)	-	50	1	0	54	27	55	27					55	27						
医歯科学(MMAコース)	-	10			11	6	11	6					11	6						
医歯理工学(一般コース)	95	95	91	53			91	53					91	53						
医歯理工学(MMAコース)	15	15	16	9			16	9					16	9						
医歯学系	189	189							224	85			224	85						
生命理工学系	25	25							9	2			9	2						
口腔機能再構築学系	-	129							10	7	49	25	59	28	51	23	169	83		
顎顔面顎部機能再建学系	-	86							1	1	21	10	25	5	46	12	93	28		
生体支持組織学系	-	51									12	4	16	7	22	8	50	19		
環境社会医歯学系	-	59							8	2	29	12	17	7	37	17	91	38		
老化制御学系	-	36									19	9	12	5	26	7	57	21		
全人的医療開発学系	-	25									12	8	9	6	11	6	32	20		
認知行動医学系	-	55									11	4	18	7	15	4	44	15		
生体環境応答学系	-	49							2	1	11	6	14	5	17	10	44	22		
器官システム制御学系	-	87							1	1	37	11	35	8	40	6	113	26		
先端医療開発学系	-	65									12	4	16	7	40	11	68	22		
小計	324	1,026	108	62	65	33	173	95	225	99	213	93	221	85	305	104	994	381	1,167	476

保健衛生学研究科

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程				計										
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
総合保健看護学	前期17 後期8	前期34 後期24	17	16	23	19	40	35	11	9	11	9	34	32			56	50	96	85
生体検査科学	前期12 後期6	前期24 後期18	12	9	14	11	26	20	4	0	6	4	12	8			22	12	48	32
小計	前期29 後期14	前期58 後期42	29	25	37	30	66	55	15	9	17	13	46	40			78	62	144	117

生命情報科学教育部

*平成23年度募集終了 *平成24年度より医歯学総合研究科へ統合

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

専攻	入学定員	収容定員	博士(前期)課程			博士(後期)課程				計										
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
バイオ情報学専攻	-	前期21 後期16	1	1	18	7	19	8	1	0	12	6	6	2			19	8	38	16
高次生命科学専攻	-	前期24 後期14	4	4	29	16	33	20	2	1	7	0	18	10			27	11	60	31
小計	-	前期45 後期30	5	5	47	23	52	28	3	1	19	6	24	12			46	19	98	47

大学院研究生

専攻	入学定員	収容定員	修士課程・博士(前期)課程			博士(後期)課程				計										
			第1	第2	小計	第1	第2	第3	第4	小計										
合計	367	1,201	142	92	149	86	291	178	273	109	249	112	291	137	305	104	1,118	462	1,409	640

大学院研究生

研究科	在学者数	内、女子	内、留学生
医歯学総合研究科	196	91	9
保健衛生学研究科	3	3	0
合計	199	94	9

*注1 赤色は、女子学生を内数で示す。
*注2 < >は先端口腔科学国際プログラム学生を内数で示す。
*注3 []はパブリックヘルスリーダー養成特別コース学生を内数で示す。
*注4 ()は生命情報科学教育部プログラム学生を内数で示す。

学生数（学部）

医学部

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	入学定員	収容定員	学年						計							
			第1	第2	第3	第4	第5	第6								
医学科	100 [5]	555	107	34	105 (3)	32 (1)	102 [5]	32	91 [5]	30 [1]	87 [7]	31 [1]	88 [6]	15	580 (3) [23]	174 (1) [2]
保健衛生学科 看護学専攻	55	220	58	58	57	54	55	51	54	53					224	216
検査技術学専攻	35	140	41	34	35	27	37	32	33	26					146	119
小計	90	360	99	92	92	81	92	83	87	79					370	335

歯学部

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	入学定員	収容定員	学年						計							
			第1	第2	第3	第4	第5	第6								
歯学科	53	346	58	24	52	24	62 [1]	23 [1]	51	22	62 [9]	29 [5]	65 [7]	29 [5]	350 [17]	151 [11]
口腔保健学科 口腔保健衛生学専攻	22 <6>	110	24	23	20	20	33 [6]	32 [6]	33 [6]	33 [6]					110 [12]	108 [12]
口腔保健工学専攻	10 [5]	25	12	9	14 (5)	6 (2)	0	0	0	0					26 (5)	15 (2)
小計	32	135	36	32	34	26	33	32	33	33					136	123

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	入学定員	収容定員	学年						計							
			第1	第2	第3	第4	第5	第6								
合計	275	1,396	300	182	283 (8)	163 (3)	289 [12]	170 [7]	262 [11]	164 [7]	149 [16]	60 [6]	153 [13]	44 [5]	1,436 (8) [52]	783 (3) [25]

*注1 赤色は、女子学生を内数で示す。
 *注2 < >内は、3年次編入学定員を外数で示す。
 *注3 { }内は、2年次編入学定員を外数で示す。
 *注4 []内は、3年次編入学生を内数で示す。
 *注5 ()内は、2年次編入学生を内数で示す。

専攻生

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

		性別		計
		男	女	
医学部	医学科	7	4	11
	保健衛生学科	0	0	0
歯学部	歯学科	8	3	11
	口腔保健学科	0	0	0
	生体材料工学研究所	1	0	1
	難治疾患研究所	3	0	3
合計		19	7	26

学位授与数

課程博士

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	博士									
	医学	歯学	学術	看護学	保健学	バイオ情報学	高次生命科学	生命情報科学	理学	工学
平成23年度	115	83	12	6	5	0	0	1	8	1
累計	1,841	2,036	141	84	49	1	1	2	65	2

論文博士

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	博士				
	医学	歯学	学術	看護学	保健学
平成23年度	3	1	1	11	0
累計	1,752	508	23	22	13

課程修士

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	修士											
	医科学	歯科学	医療管理学	医療政策学	看護学	保健学	バイオ情報学	高次生命科学	生命情報科学	理学	工学	学術
平成23年度	44	3	5	10	20	12	5	1	1	32	5	1
累計	362	12	65	70	278	232	12	3	7	245	7	2

附属教育施設

生徒数

平成24年5月1日現在（May, 1, 2012）

	学年		計
	第1	第2	
歯科技工士学校（実習科）	7	4	15
	8	4	8

*平成24年度募集終了、平成26年度廃止予定
 *赤色は、女子学生を内数で示す。

平成24年度科学研究費助成事業採択状況

	件数	金額(千円)
特定領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas	1	1,900
挑戦的萌芽研究 Grant-in-Aid for Challenging Exploratory Research	82	142,090
若手研究(A) Grant-in-Aid for Young Scientists (A)	7	66,170
若手研究(B) Grant-in-Aid for Young Scientists (B)	147	240,370
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellow	41	35,600
基盤研究(S) Grant-in-Aid for Scientific Research (S)	3	117,910

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

	件数	金額(千円)
基盤研究(A) Grant-in-Aid for Scientific Research (A)	11	132,860
基盤研究(B) Grant-in-Aid for Scientific Research (B)	52	317,460
基盤研究(C) Grant-in-Aid for Scientific Research (C)	174	288,210
研究活動スタート支援 Grant-in-Aid for Research Activity Start-up	10	15,340
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	46	471,770
奨励研究 Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists	5	3,000
合計 Total	579	1,832,680

受託研究費等受入状況 (平成23年度)

	件数	金額(千円)
受託(委託)研究費(うち複数年契約によるもの) Entrusted Research	131 (32)	1,640,879 (111,834)
共同研究費(うち複数年契約によるもの) Cooperative Research	149 (91)	267,248 (100,712)
奨学寄附金 Donation for Promotion of Learning	796	1,252,998
合計 Total	1,076	3,161,125

*複数年度契約とは、研究期間が平成22年度を含み、2年度以上にまたがるものであり、当該22年度に受け入れた金額(件数も1件としてカウント)を積算したものの。

平成24年度厚生労働科学研究費補助金採択状況

	件数	金額(千円)
政策科学推進研究 Research on Policy Planning and Evaluation	1	49,000
統計情報総合研究 Research on Statistics and Information	1	2,000
地球規模保健課題推進研究事業 Research on Global Health Issues	2	22,200
再生医療実用化研究事業 Research on Regenerative Medicine for Clinical Application	1	52,000
政策創薬マッチング研究 Public-private Sector Joint Research on Publicly Essential Drugs	1	3,900
医療機器開発(ナノテクノロジー等) 総合推進研究 Research on Medical Device Development	1	39,000
第3次対がん総合戦略研究事業 Third Term Comprehensive Control Research for Cancer	2	30,500

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

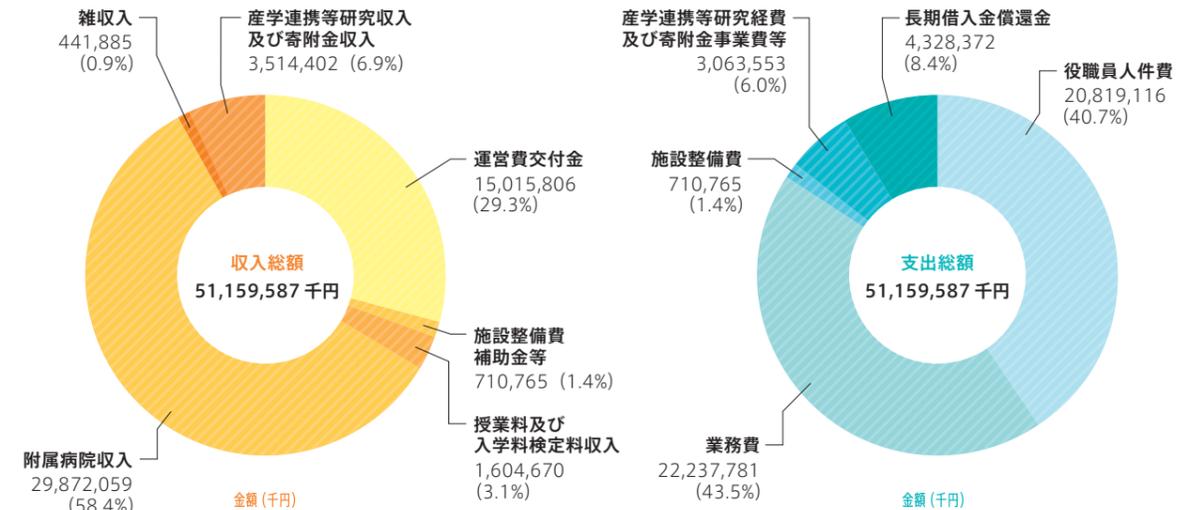
	件数	金額(千円)
循環器疾患・糖尿病等 生活習慣病対策総合研究経費 Comprehensive Research on Life-Style Related Diseases including Cardiovascular Diseases and Diabetes Mellitus	1	6,388
難治性疾患等克服研究 Research on Rare and Intractable Diseases	11	331,015
障害者対策総合研究 Comprehensive Research on Disability Health and Welfare	3	24,467
エイズ対策研究 Research on HIV/AIDS	2	10,071
地域医療基盤開発推進研究 Research on Region Medical	4	26,900
健康安全・危機管理対策総合研究 Research on Health Security Control	1	3,600
合計 Total	31	601,041

寄附講座一覧

平成24年5月1日現在 (May, 1, 2012)

寄附講座名	設置期間	寄附者
大学院医歯学総合研究科 薬害監視学講座	H17.4.1 - H25.3.31	田辺三菱製薬(株)/武田薬品工業(株) アボットジャパン(株)/エーザイ(株)/中外製薬(株)/プリストルマイヤーズ(株)
ナノメディスン(DNP)講座	H17.4.1 - H25.3.31	大日本印刷(株)
応用腫瘍学講座	H17.10.1 - H26.9.30	大鵬薬品工業(株)
分子肝炎制御学講座	H18.4.1 - H25.3.31	MSD(株)
軟骨再生学講座	H18.6.1 - H27.3.31	ジンマー(株)/日本メディカルマテリアル(株)
消化管先端治療学講座	H19.4.1 - H27.3.31	杏林製薬(株)/旭化成クラレメディカル(株)/味の素製薬(株) ユーシービージャパン(株)/大塚製薬(株)/エーザイ(株)/株JIMRO ゼリア新薬工業(株)/田辺三菱製薬(株)/アボットジャパン(株)/協和発酵キリン(株)
整形外科 先端治療開発学講座	H19.8.1 - H25.3.31	日本ストライカー(株)メトロニックソファモアダネック(株) HOYA(株)/株イトー医科器械/帝人ファーマ(株)
睡眠制御学講座	H21.6.1 - H27.3.31	フクダ電子(株)/帝人在宅医療(株)/グラクソスミスクリン(株) フィリップス・レスピロニクス合同会社/株さいわいメディックス テルモメディカルケア(株)/フクダライフテック東京(株)
小児・周産期地域医療学講座	H22.4.1 - H26.3.31	茨城県
東京医科歯科大学 地域小児医療調査研究講座 (東京都)	H22.4.1 - H25.3.31	東京都
慢性腎臓病病態治療学講座	H22.4.1 - H25.3.31	中外製薬(株)
臓器代謝ネットワーク講座	H23.4.1 - H26.3.31	塩野義製薬(株)
関節機能再建学講座	H23.5.1 - H25.4.30	バイオメッド・ジャパン(株)/ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) メディカルカンパニー
女性健康医学講座	H24.4.1 - H28.3.31	キッコーマン(株)

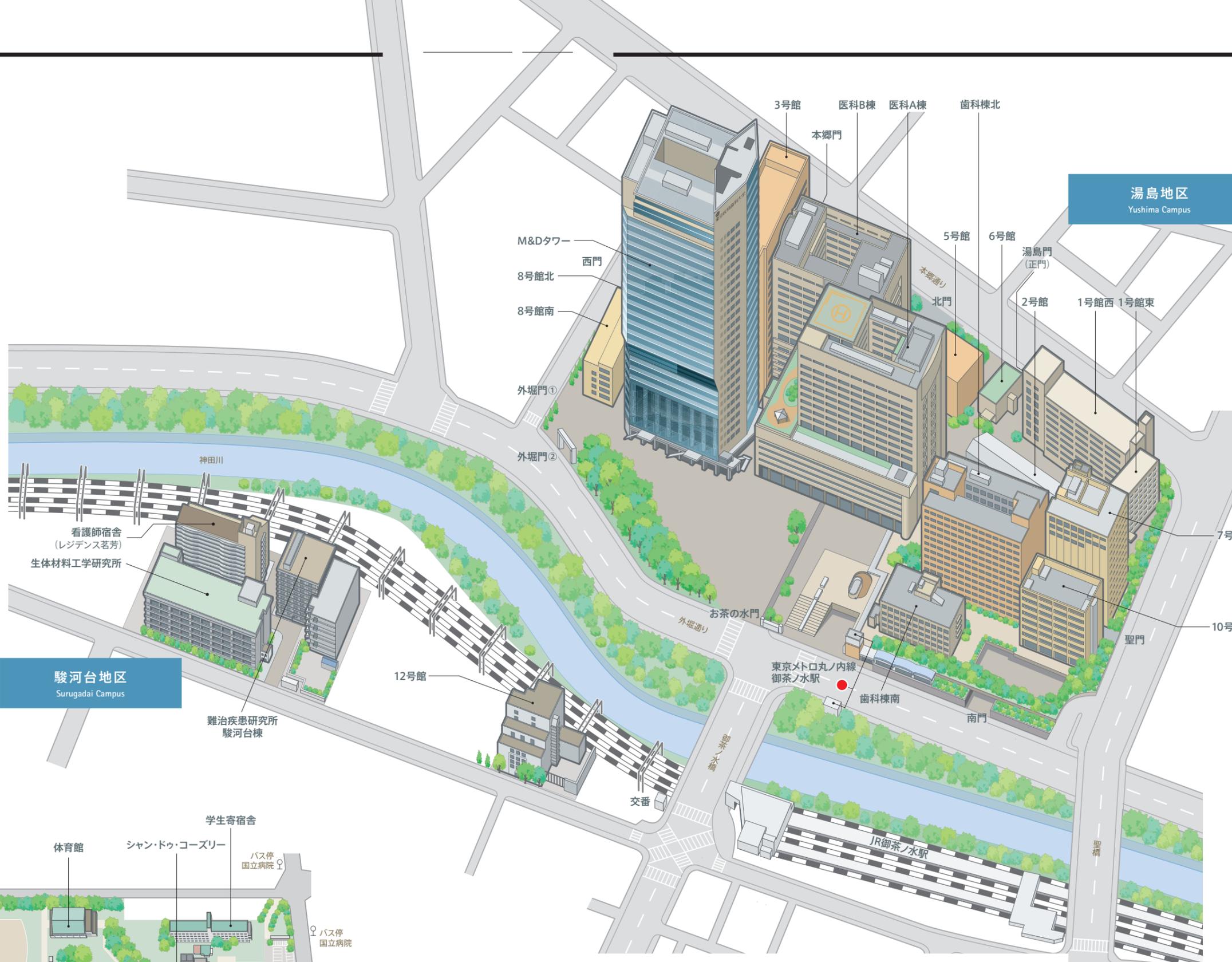
平成24年度収入・支出予算



湯島地区・駿河台地区

Yushima and Surugadai Campuses

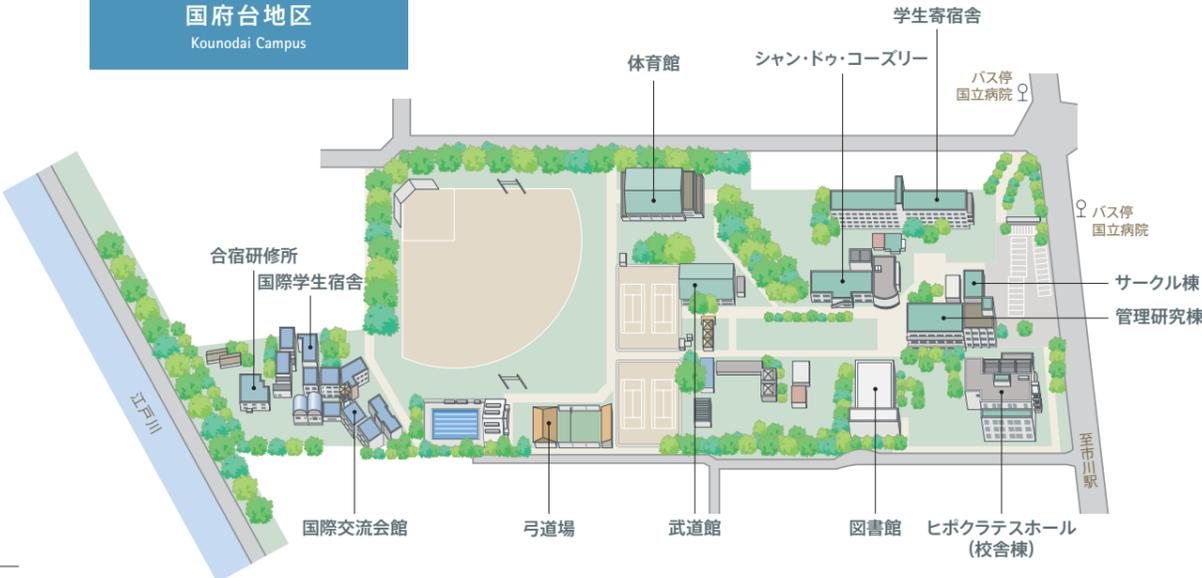
東京都心の歴史ある地域に広がる湯島・駿河台地区。研究棟や附属病院が立ち並ぶキャンパスで、高度な知識と技術を持つ医療人を養成するための専門教育が行われます。



駿河台地区
Surugadai Campus

国府台地区

Kounodai Campus



国府台地区

Kounodai Campus

すべての学生にとって最初の学舎となる教養部がおかれている国府台地区。東京都に隣接する千葉県市川市にあり、湯島・駿河台地区にも約40分でアクセスできます。



土地・建物及び所在地

平成24年5月1日現在

Location of University Campuses and Buildings (as of May 1, 2012)

湯島地区

Yushima Campus 土地: 45,115m² 建物: 240,436m²

- ・事務局 Administration Bureau
- ・大学院医学総合研究科 Graduate School of Medical and Dental Sciences
- ・大学院保健衛生学研究科 Graduate School of Health Care Sciences
- ・大学院生命情報科学教育部 Biomedical Science PhD Program

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

- ・医学部 Faculty of Medicine
- ・医学部附属病院 University Hospital of Medicine

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

- ・歯学部 Faculty of Dentistry
- ・歯学部附属病院 University Hospital of Dentistry

〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

駿河台地区

Surugadai Campus 土地: 5,597m² 建物: 19,912m²

- ・生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 03-5280-8000
2-3-10
3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo

- ・難治疾患研究所 Medical Research Institute

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 03-5280-8050
2-3-10
3-10, Kanda Surugadai 2 chome, Chiyoda-ku, Tokyo

		土地 Grounds	建物 Buildings
戸田地区 Toda Boat-House	埼玉県戸田市戸田公園1-60 60, Todakoen 1 chome, Toda-city, Saitama Prefecture	696m ²	479m ²
妙高高原地区 Akakura Resort House	新潟県妙高市大赤倉6120 6120, Akakura, Myoko-city, Niigata Prefecture	1,621m ²	434m ²
館山地区 Tateyama. Oga-Resort House	千葉県館山市大賀 Oga, Tateyama-city, Chiba Prefecture	4,357m ²	834m ²
白山宿舎 Hakusan Residence Housing	東京都文京区白山2-36-3 36-3, Hakusan 2 chome, Bunkyo-ku, Tokyo	497m ²	91m ²

*土地・建物の()内数字は、借用又は一時使用面積を外数で示す。

- ・図書館情報メディア機構 Institute for Library and Media information Technology
- ・医歯学教育システム研究センター Center for Education Research in Medicine and Dentistry
- ・医歯学研究支援センター Research Center for Medical and Dental Sciences
- ・実験動物センター Center for Experimental Animal
- ・国際交流センター International Exchange Center
- ・生命倫理研究センター Life Sciences and Bioethics Research Center
- ・医歯学融合教育支援センター Center for Interprofessional Education
- ・保健管理センター Health Service Center
- ・スチューデントセンター Student Center
- ・女性研究者支援室 Support Office for Female Researchers
- ・研究・産学連携推進機構 TMDU Research Organization
- ・病院運営企画部 Hospital Administration Planning Division

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

- ・歯学部附属歯科技工士学校 School of Dental Technologists

〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45 03-3813-6111
5-45, Yushima 1 chome, Bunkyo-ku, Tokyo

国府台地区

Kounodai Campus 土地: 61,287m² 建物: 13,900m²

- ・教養部 College of Liberal Arts and Sciences

〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-30 047-371-7103
8-30, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city,
Chiba Prefecture

- ・保健管理センター分室 Health Service Center, Kounodai Branch

〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-1 047-371-7936
8-1, Kounodai 2 chome, Ichikawa-city,
Chiba Prefecture

- ・国際交流会館 International House
- ・国際学生宿舎 International Student House

		土地 Grounds	建物 Buildings
若宮町宿舎 Wakamiyacho Residence Housing	東京都新宿区若宮町26 26, Wakamiya-cho, Shinjuku-ku, Tokyo	995m ²	—
塔の山住宅 Tonoyama Residence Housing	東京都中野区中央1-50-3 50-3, Chuo 1 chome, Nakano-ku, Tokyo	1,974m ²	1,945m ²
越中島住宅 Etchujima Residence Housing	東京都江東区越中島1-3 3, Etchujima 1 chome, Koto-ku, Tokyo	17,967m ²	25,480m ²
納骨堂 The Ossuary (Nokotsu-do)	千葉県市川市国府台3-10-1 10-1, Kounodai 3 chome, Ichikawa-city, Chiba Prefecture	(115m ²)	—

土地: 140,106m² (115m²) 建物: 303,511m²
Grounds (sq. Metre) Buildings (sq. Metre)

関係施設位置図

Access

湯島キャンパス・駿河台キャンパス

Yushima and Surugarai Campus

- ・JR 御茶ノ水駅 下車
- ・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車
- ・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車

国府台キャンパス

Kounodai Campus

- ・京成線 国府台駅 下車
- ・JR 市川駅 下車
- ・国立病院前 バス停
(北口、バス一番乗場11系統
松戸駅(松戸車庫)行き 10分)

